

## 高齢者と子ども

### 目次

要約	2
はじめに	6
1. サンプル構成	7
● 調査のねらいとサンプル	7
● 2つの地域	9
2. 祖父母との接触をめぐって	12
● 同居経験	12
● 祖父母の生活	14
● 接触の頻度	17
● 母親の子ども時代をふり返る	19
3. 祖父母への愛着	20
● 祖父母に対する知識	22
4. 祖父母と高齢者イメージ	26
● 一般の高齢者イメージ	26
● 祖父と祖母	28
● 一般高齢者と祖父母	31
● 地域差	32
● 母親と子どもの間で	38
まとめ	41
地球社会の子どもたち ② バンコクーその1 ある私立学校で	深谷昌志 42
資料1 調査票見本および集計表	47

おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	調	査	レ	ポ	ー	ト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高	齢	者	と	子	ど	も	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	要	約	<input type="checkbox"/>					

東京学芸大学大学院生 船越 恵子  
東京学芸大学教授 深谷 和子

## 1. 目的

高齢社会の到達とともに、若い世代と高齢者世代とのよき関係のあり方が模索されつつある。そのための基礎資料として、子どもの高齢者や祖父母との接触の状況と、高齢者や祖父母のイメージを明らかにするために行われた。また地域差をみるために、東京の下町と郊外の新興住宅地に分けて調査票を配布した。



## 2. 同居率

下町のT地区では46%、郊外のK地区では13%と、同じ東京でも開きが大きい。しかし過去の同居経験も含めると、T地区では70%、K地区でも35%となり、これは母親が子ども時代の祖父母の同居経験と比べると、下町ではかえって親の場合より上まわる。(図4、図6、図7)

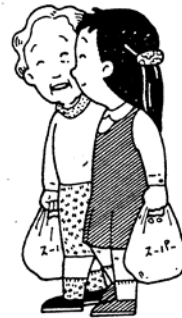
### 3. 元気でまあ恵まれた生活をしている祖父母

同居している祖父母は自分専用の部屋とテレビを持ち、身のまわりのことも自分ででき、経済的にも自立していたり、家族に負担をかけていない者が多い。高齢者といってもまだ十分に元気な人びとも多いのが、今日の高齢社会の姿であろう。(図9、図10、図11、表7、図12、図13、図14、図15)



### 4. 好かれていたる祖父母

子どもの多くは自分の祖父母に十分な愛着を感じている。ただし父方より母方、祖父より祖母がより愛着をもたれている(図19、図20)。また両親と祖父母との関係も多くは良好である(表10、表11)。そして「同居してよかった」「同居したい」と言っている子も多い(図22、図23)。しかし母親の同居希望はそれほどではない。(図24)



## 5. 高齢者イメージ(1)

子どもの高齢者イメージには、ほとんど性差がみられない。祖父母には、プラス面で多少の差があり、祖母に好意的である(図25、図28)。しかし一般の高齢者(女性)と祖母、一般の高齢者(男性)と祖父との間には大きな差があり、肉親に対するイメージのほうがはるかによい。しかもこれはイメージのプラス面で特徴的であり、マイナス面ではそれほどの差がみられない。

(図26、図27、図29、図30)



## 6. 高齢者イメージ(2)

両イメージとも、東京の古い下町T地区と郊外の新興住宅地K地区では、差がみられる。

男性高齢者、女性高齢者についてはプラス面では差がないが、祖父母については同居率、同居経験率とも高い下町のT地区のほうがイメージが悪く、マイナス面でもT地区のほうが悪い。これを単に同居率の差だけで説明しきれぬかどうかは疑問も残る。(図31、図32、図33、図34)



## 7. 高齢者イメージ(3)

母親の一般高齢者イメージは、プラス面もマイナス面も、子どもよりはるかに強調されて認知されており、それだけイメージのステレオタイプ化がみられる。

## 8. まとめ

高齢社会の中で子どもと高齢者（祖父母を含む）とのよりよい関係をつくってゆくために、今後われわれは何をすべきかが、社会的課題の一つとなってきたと思われる。





## はじめに

高齢社会の到来という声の中で、若い世代と高齢者世代との関係をどうよきものに保ってゆくかが、社会的課題となりつつある。老親との同居や別居の問題、扶養や介護の問題のどれ一つをとっても、どうあるべきかを人びとは模索している。昔ながらに肉親（子どもや孫）に頼りたいとする心情と、他方では時代が変わってきている中で、もはや若い世代には自分たちの扶養や介護を期待できないだろうとの覚悟も入りまじって、人びとの心は不安定である。しかしいずれにせよ、若い世代——とくに子ども（孫）たちと高齢者とのよい関係を生み出すための方策が探られなければならないだろう。この「モノグラフ・小学生ナウ」では、1984年vol. 4-6（子どもと祖父母）で、子どもたちの祖父母に対する愛着や理解の現状をテーマとしてとり上げた。今回は祖父母だけでなく高齢者一般にも多少対象を広げ、その「イメージ」をみてることとした。また母親に対しても比較のための調査を試みた。

# 1. サンプル構成



## 調査のねらいとサンプル

今回の調査は、子どもが祖父母や高齢者一般に対して、どのように「良い」または「悪い」イメージを抱いているか。その個人差が母親の態度とどう関連しているかをみようと企図された。そのため、子どもとその母親の両方を1組として調査票を回収した（子ども用、母親用の調査票を同封したものを子どもに持ち帰ってもらい、後日回収し、マッチングさせた）。また調査地域を東京の下町（T

地区）と郊外の〇〇市（K地区）の2か所で行い、地域差をもみることにした。

表1に掲げたように、2地域のそれぞれ2つの小学校で942組（母-子）の調査票が回収された。サンプル数は計1,884人であった。学年を表2に、地区別サンプル数を表3に、母親の年齢を図1、学歴を図2にそれぞれ掲げた。

表1 母親・子どものサンプル構成

地区	学校	配布数	回収数	子どもの有効回答数	母親の有効回答数	有効回答率(%)
T地区	N小	250	207	176	176	70.4
	I小	332	297	271	271	81.6
K地区	R小	364	328	310	310	85.2
	K小	237	204	185	185	78.1
計		1,183	1,036	942	942	79.6

表2 子どもの学年・性別

(人)

	男子	女子	計
4年	76	57	133
5年	218	218	436
6年	181	192	373
計	475	467	942



表3 地区別調査対象

(人)

	子ども	母親	計
T地区	447	447	894
K地区	495	495	990
計	942	942	1,884

図1 母親の年齢

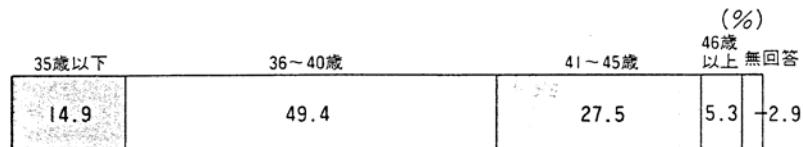
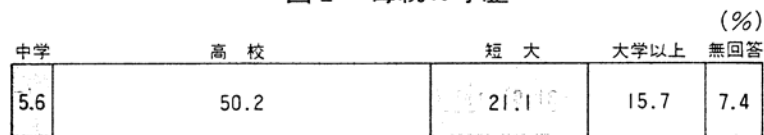


図2 母親の学歴



## 2つの地域

東京下町のT地区は、昔ながらの商業地で図3に掲げたように有職率が高く、また図には掲げなかったが、K地区より高学歴者が多い。また表4に掲げたようにその職業もフルタイム者についてみると、かなりの違いがみられる。K地区(〇〇市)はいわゆる郊外に開けた新興住宅地であり、大手企業の社宅なども含まれる。表5をみてもT地区に地元の出身者が多く、K地区は他からの流入者が多

いことがわかる。図4をみると、現在祖父母(一方でも可)と同居している子どもの割合は、サンプル全体では28%。このように数値が東京にしてはやや高めなのは、その下にあるように、T地区の同居率が46%と高いためである。これに対してK地区は13%と大きな差がみられる。

なお調査時期は1989年9月～10月であった。

図3 地区別母親の職業

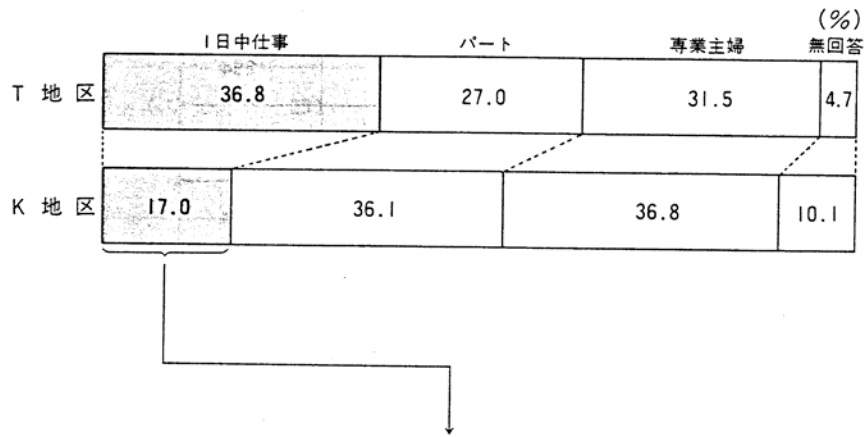


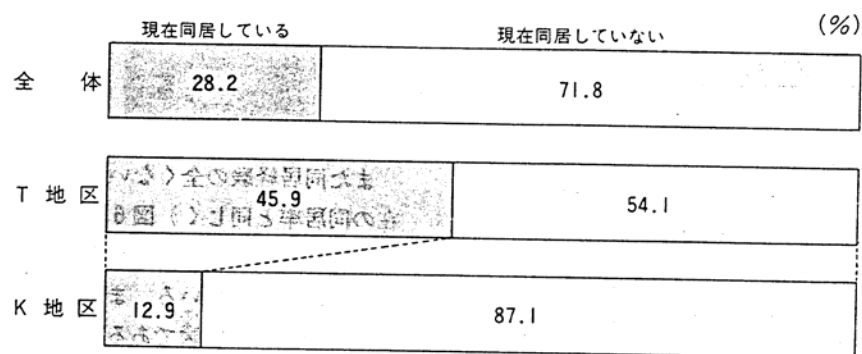
表4 母親の仕事の内容

	自営業 (内職)	会社員	公務員 教師	医療・ 専門職	その他	無回答
T 地区 N = 164	99人 (60.4)	44人 (26.8)	3人 (1.8)	5人 (3.1)	10人 (6.1)	3人 (1.8)
K 地区 N = 84	25人 (29.8)	26人 (31.0)	10人 (11.9)	9人 (10.7)	8人 (9.5)	6人 (7.1)

表5 地区別母親の出身地

	(%)	
	T地区	K地区
東京	59.9	32.3
関東(東京を除く)	13.0	11.4
東北	7.8	12.4
中部	5.4	10.1
九州・沖縄	3.6	18.3
中国・四国	2.0	3.9
近畿	1.6	3.9
北海道	1.6	2.6
その他	3.8	4.1
無回答	1.3	1.0

図4 祖父母との同居状況



## 2. 祖父母との接触をめぐって



### 同居経験

まず現在の祖父母との同居率を図5でみると、平均寿命に差のある祖母との同居率が祖父より高いのは当然だが、父方と母方との数値の開きが思ったほど大きくないのが目につく。少子化や共働き率の増加が進む中で、母方の祖父母と同居する家庭も増えてきているのであろう。しかしそれにしても表6が示すように、過去・現在を通じて一度も祖父母と同居した経験のない子どもが圧倒的に多いことがわかる。

また同居経験の全くない子は、(図4の現在の同居率と同じく)図6によれば、両地域で大きな差があり、下町のT地区では7割が同居経験をもっている。また図7は母親の子ども時代の同居経験である。現在の子どもより同居経験が少ないのは、子ども数が多かったため、長男の子ども以外は同居でき難かったことを示すものだろう。昔は皆、祖父母と同居していたかのようなイメージの間違いを示す面白いデータであろう。

図5 祖父母との同居状況

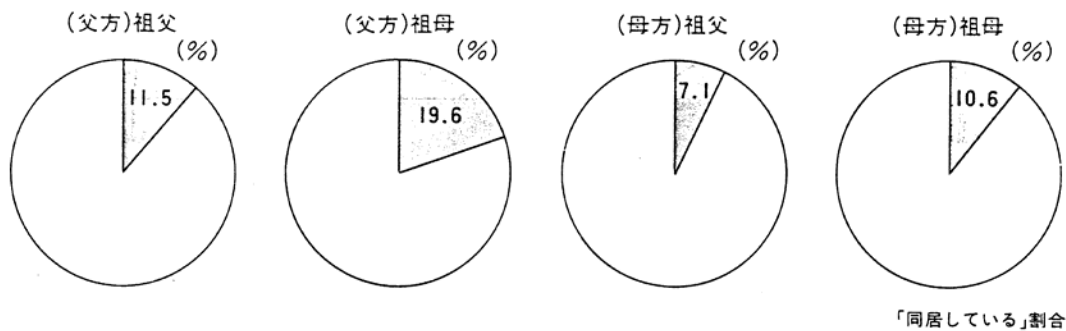


表6 祖父母との同居経験

(%)

		現在同居	過去同居	同居経験なし
父方	祖父	11.5	12.1	76.4
	祖母	19.6	11.1	69.3
母方	祖父	7.1	10.8	82.1
	祖母	10.6	12.9	76.5

図6 地区別子どもと祖父母との同居経験

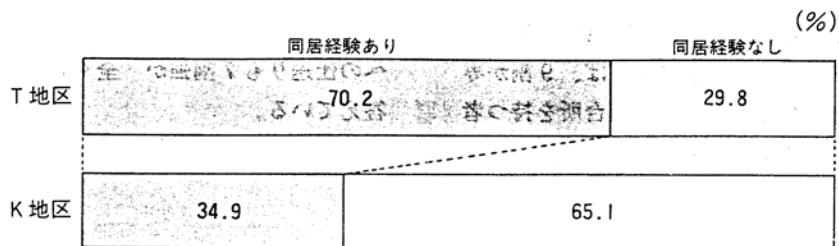
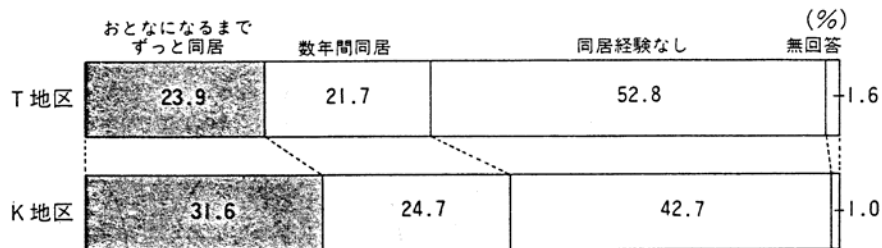


図7 母親の子ども時代の祖父母との同居経験



### 祖父母の生活

では同居にせよ別居にせよ、子どもの祖父母がどんな生活をしているか、その生活の自立性を中心にみてみよう。

まず図8は祖父母の居住地(死亡も含めて)である。祖父の死亡率は父方約5割母方4割。バス電車等で1時間以内を含めると、次のようになる。

	同居	近居	遠居	施設	死亡 (%)
父方の祖父	10.2	14.8	26.4	1.0	46.4
父方の祖母	17.6	22.3	38.6	1.0	19.9
母方の祖父	5.9	20.0	33.1	0.5	40.1
母方の祖母	8.2	30.6	43.5	0.6	16.8

死亡の場合は別として、病院や施設入居者はごくわずかであり、また近居者と遠居者の比は約1対1.6と、同居こそ少ないものの、子どもと祖父母との距離は思ったより近いこともわかる。

次に図9からは同居者の家庭内での生活を示すデータである。図9によれば、9割が専用の部屋とテレビを持ち、専用台所を持つ者も3分の1と恵まれた条件を示す。図10によ

れば、7割はまだ人手を借りずに身のまわりのことができ、図11によれば、7割前後が家庭内で、何らかの役割をもっている。その内容は表7に示した。

さらに図12によれば、祖父母と食事をいつも(またはだいたい)ともにする家庭は約3分の2と多いが、しかし他方、いつも(またはほとんど)別に独立した生活のしかたをしている家庭も3分の1くらいはいることになる。また図13によれば、食事作りをしっかりと担っている祖父母も2割はおり、祖父母と若い世代との関係も多様な姿が見いだされる。

この点は図14、図15に示した祖父母との経済関係にも見いだされる。図14に示したように、経済的にかなり依存している祖父母は、16%しかいない。ほとんどは自立しており、同居してもそれほどの経済的負担を若い世代に負わせていないか、逆に若い世代より経済力のある祖父母も多数含まれることが推定される。図15に示したように、別居している親への仕送りも7割強が「全くしていない」と答えている。

図8 祖父母の居住地(母親)

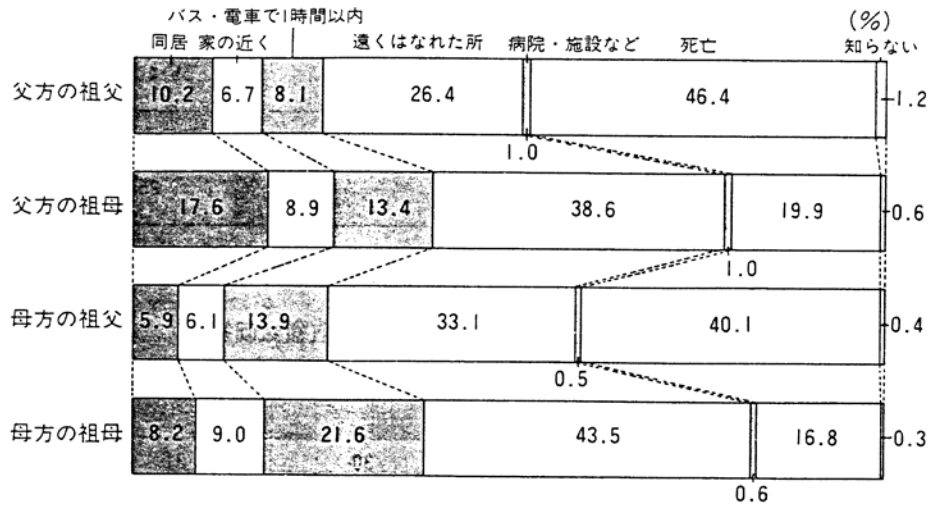


図9 同居祖父母の所有物

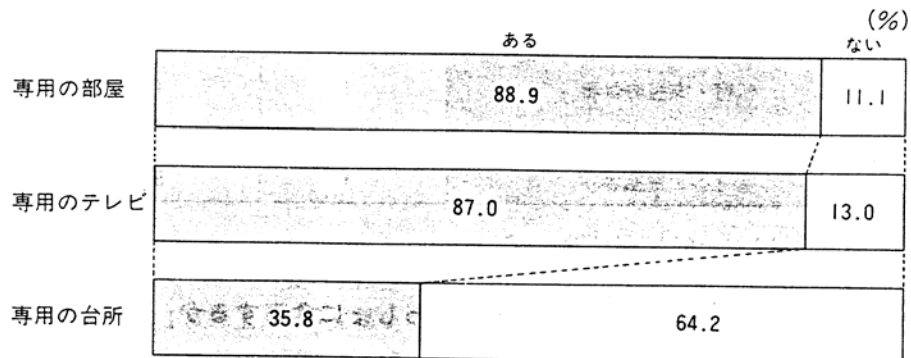


図10 同居祖父母の身体的自立度

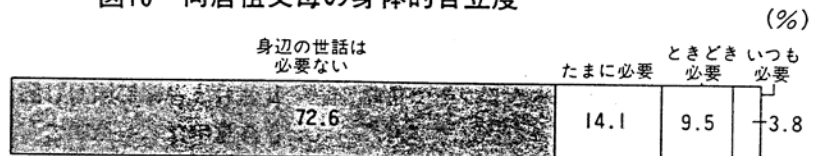


図11 同居祖父母の家庭内の役割

	ある	ない	(%)
祖父	64.6	35.4	
祖母	74.7	25.3	

表7 同居祖父母の家庭内役割(複数回答)

	祖父	祖母	(人)
家業	30	31	
家事	24	97	
植木・庭・家の手入れ	16	23	
自分の身のまわりのこと	10	23	
子どもの世話	6	13	
配偶者の世話	1	4	
仏壇・先祖の供養	1	1	
近所・町内会つきあい	1	2	
留守番・電話番	1	5	

図12 同居祖父母といっしょに食事するか

	いつもいっしょ	だいたい いっしょ	たまに いっしょ	いつも別	(%)
朝食	44.2	11.0	11.4	33.4	
夕食	54.0	10.2	19.3	16.5	

図13 同居祖父母の食事作り

「祖父母に食事を作ってもらうことがありますか」

よくある	ときどきある	たまにある	ほとんどない	(%)
21.1	14.6	22.2	42.1	



図14 同居祖父母の経済的自立度

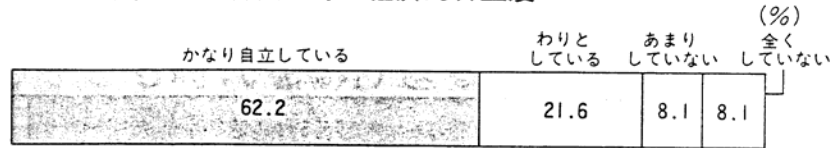
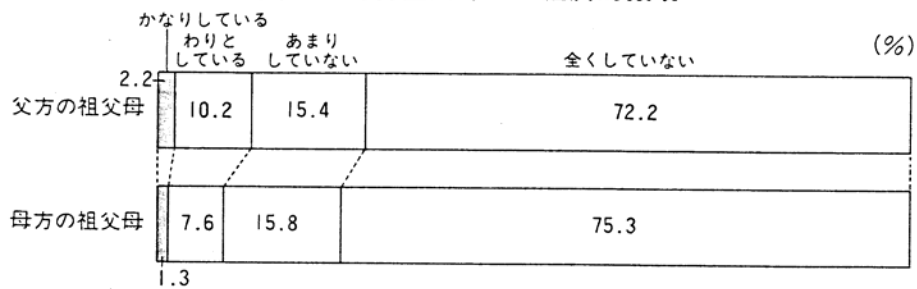


図15 別居祖父母への経済的援助



### 接触の頻度

さて同居の祖父母のようすを見てきたところで、別居している祖父母との接触のようすをみてみよう。

図16によれば、祖父母ともいない子は全体の13%。37%は月に1度以上という結構ひんぱんな接触をし、36%は年に数回は会っている。これはたぶん夏休みや正月休みなどの家族そろっての旅行であろう。小学生時代の祖父母と孫との接触はまあまあの頻度で行われているようすである。

そしてそうした接触の中で子どもがどんな体験をしているか。図17は同居別居を合わせてみた内容である。「こづかい、お年玉をも

らった」(79%)を筆頭に、「いろいろ世話をしてもらった」(58%)、「贈り物をもらった」(48%)、「いっしょに遊んだ」(43%)と「よくあった」とする反応の数値が結構高い。しかし「電話や手紙」「祖父母の誕生日」「昔話」などの項目は、4分の1程度に留まり、まだまだ接触の余地はありそうである。

さて表8は地区別の比較である。別居率の高いK地区のほうが通信による接触が多いだけで、あとは多くの項目で下町のT地区の接触量が多いことがわかる。

図16 別居祖父母と会う頻度(子ども)

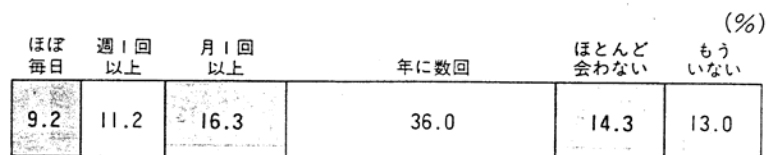


図17 子どもの過去の祖父母との接触

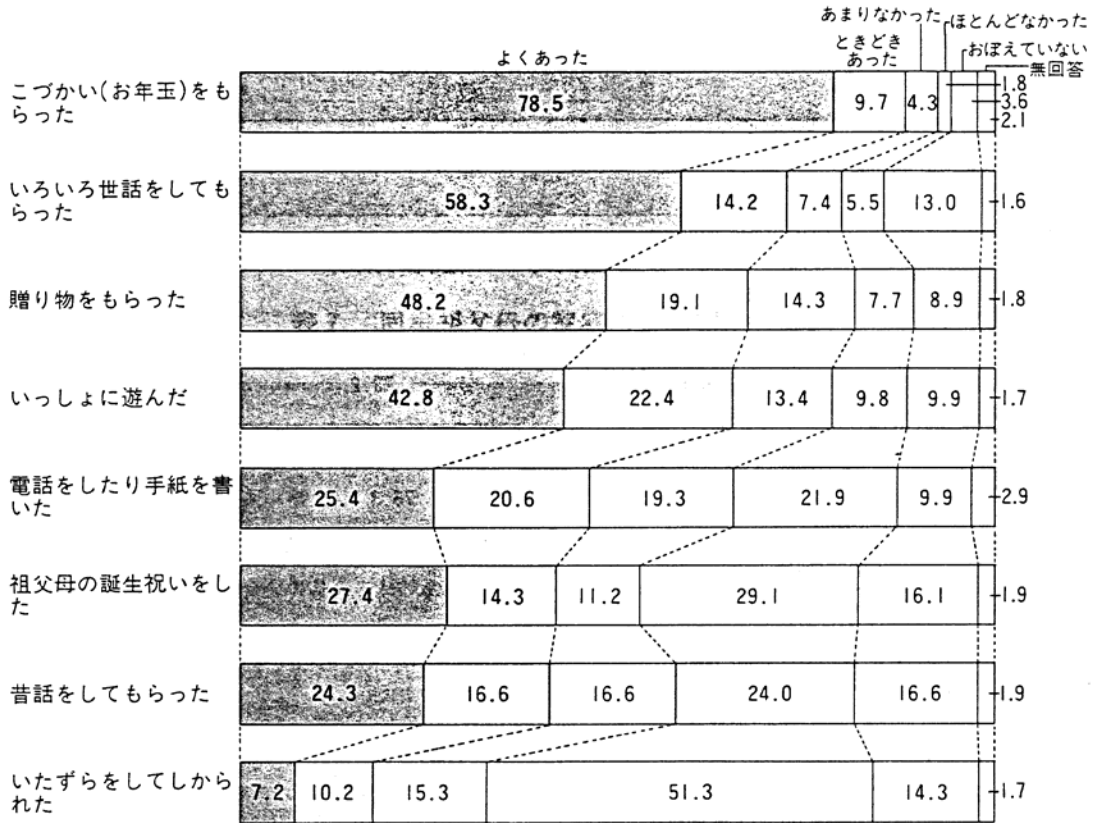


表8 地区別子どもの過去の祖父母との接触量 (%)

	T 地区	K 地区
こづかい	88.6	87.7
世話	75.2	70.0
贈り物	65.9	68.7
買い物、遊び	68.2	62.4
電話、手紙	37.3	53.9
誕生祝い	46.1	37.7
昔話	44.1	38.0
しかられた	20.0	15.1

「よく・ときどきあった」の割合

## 母親の子ども時代をふり返る

図18は母親が子ども時代をふり返って、祖父母との接触の内容を思い出して答えたものである。図17と比べると全体に子どもより母親のほうの数値が低い。これは図7でみた結果と連続性をもつと考えられる。昔の人が皆、祖父母から昔話をしてもらって育ったという

エピソードは、やはりかなりバイヤスのかかったものなのだろう。しかし表9でみると多少の地域差は認められる。郊外で他県からの流入者の多いK地区のほうはやや数値が高くなっている。これは何を意味するのだろうか。

図18 母親の子ども時代における祖父母との接触

	よくあった				ときどきあった		あまりなかった		ほとんどなかった		無回答
いろいろ世話をしてもらった	38.3				17.7		12.1		28.4		-3.5
昔話をしてもらった	28.1				21.6		18.4		28.4		-3.5
いっしょに遊んだ	25.5				18.7		16.9		35.3		-3.6
いたづらをしてしかられた	14.9				17.5		22.2		41.8		-3.6

表9 地区別母親の子ども時代の祖父母との接触量

	地区別	
	J地区	K地区
いろいろ世話をしてもらった	53.2	58.6
昔話をしてもらった	46.1	53.5
いっしょに遊んだ	41.3	46.4
いたづらをしてしかられた	27.3	37.1

「よく・ときどきあった」の割合

### 3. 祖父母への愛着



こうした接触の日々を通して、祖父母と子どもたちとの間にはどのような愛着が形成されてきているのだろうか。

まず図19はその全体像である。祖父のほうに死亡率が高く、記憶にない子も多いが数値はそのままの比率でみてゆこう。全体として祖父母に対する愛着はかなりのものがあり、かつ父方より母方、祖父より祖母のほうの方が好かれている。図20は「とても好き」な割合を性別でしてみた。すべての対象に、男子より女子の愛着が深いのも面白い。

また表10は、祖父母それぞれについて、母親に「祖父母（義父、義母、実父、実母）と仲よくしているか」を聞いたものである。「仲

よくしていない」と答えたのは、最も数値の高い義父でもわずか14%、義母で13%と、全体にはかなりいい関係がみられる。（ただし「わりと仲よくしている」の数値には多少のトラブルも潜在しているニュアンスが感じられるが）こうした親と祖父母世代とのよい関係の中で、子どもの祖父母に対する愛着も生み出されているのであろう。

また表11は4人の祖父母をまとめて、それと両親との関係を子どもの目からとらえさせたものだが、ここでも「とても・わりと」仲よしとする反応が8割近くになっており、両方の値がほぼ一致していることから、両者のよい関係の存在はおおむね確かであろう。

図19 子どもの祖父母への愛着

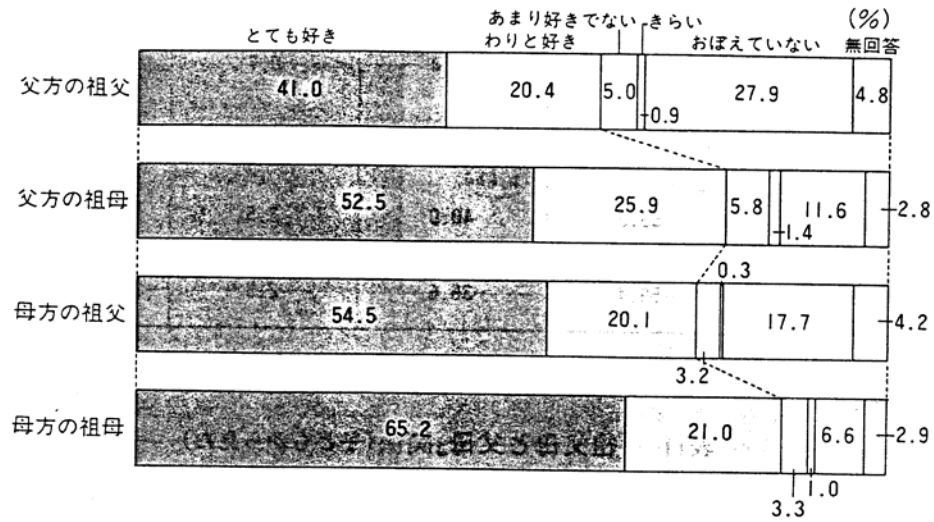


図20 「祖父母をととても好き」な割合×性別

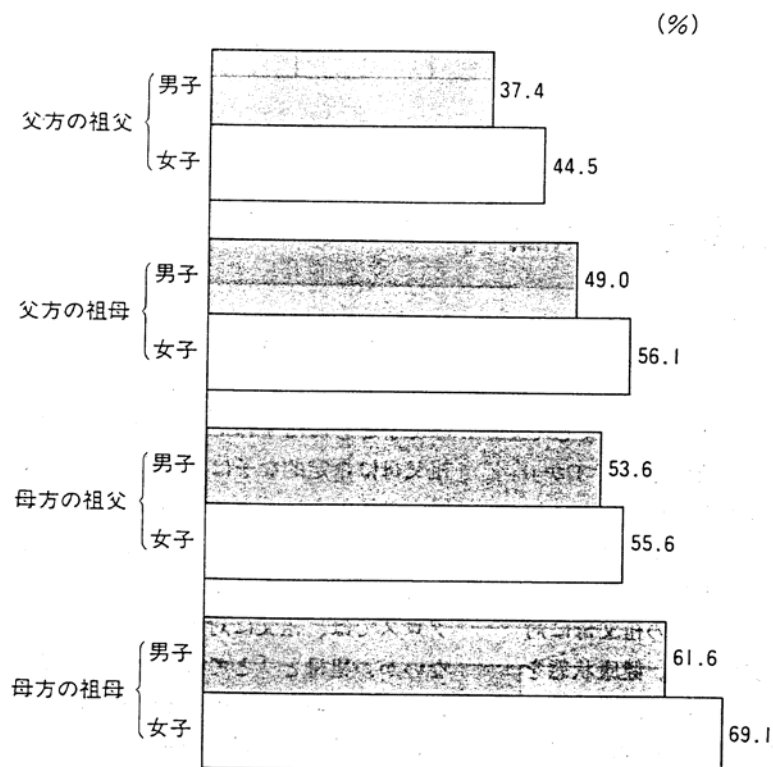


表10 母親の祖父母との親密度(母親による)

(%)

	とても仲よく している	わりと仲よく している	あまり仲よく していない	ぜんぜん仲よく していない
父方の祖父	32.2	53.4	9.7	4.7
父方の祖母	35.0	52.1	9.1	3.8
母方の祖父	53.9	40.0	3.5	2.6
母方の祖母	59.4	36.6	2.3	1.7

表11 「祖父母と父母」関係(子どもから見た)

(%)

	とても 仲よし	わりと 仲よし	少し 仲よし	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	無回答
男子	51.1	27.0	10.1	4.1	4.1	3.6
女子	53.0	24.8	12.2	7.0	1.0	2.0

### 祖父母に対する知識

さて子どもは祖父母について、何をどこまで理解しているか。そのためにまず「あなたは父方、母方いずれのおじいさんと仲よしですか」「どちらのおばあさんと仲よしですか」とたずねて、仲よしのほうのおじいさん(おばあさん)に対する理解を聞いてみた。

表12によると、男子も女子も母方の祖父母のほうを好んでいる。その仲よしの祖父母に対する知識をみたのが図21である。健康状態をはじめとして、さすがによく知っている。その内容は表13から表16に掲げた。表13によれば、65歳以下の祖父が20%、祖母が31%と、いわゆる高齢者に分類されない人びともいて、全体には比較的若い祖父母であることがわかる。

なお図22、図23は祖父母と同居してよかったか、同居しなかったかを、同居、別居に分けて子どもにたずねた結果である。同居中の祖父母に否定的な子はわずか1割、そして別居中の子どもは「とてもいっしょに暮らしたい」が36%、「わりと」を合わせると7割を超える子が同居を望んでいる。また性別とのクロスでは、祖父に対する同居希望には差がないが、祖母と「とても」住みたい子は男子29%、女子41%と大きな差がみられる。

図24は別居中の母親の同居希望だが、さすがに子どもより消極的で「あまり・ぜんぜんない」が6割と、子どもと逆の数値になっている。

表12 子どもはどちらの祖父・祖母と仲よしか

(%)

	男子	女子
父方の祖父	31.7	31.6
母方の祖父	49.4	58.9
どちらとも	18.9	9.5

(%)

	男子	女子
父方の祖母	35.9	32.4
母方の祖母	49.5	62.5
どちらとも	14.6	5.1

図21 仲よしの祖父母に関する知識

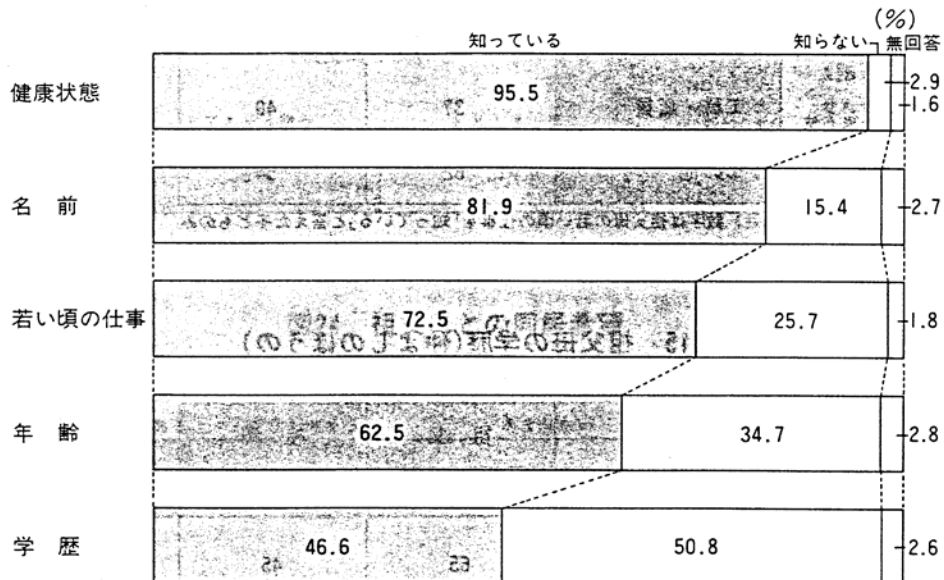


表13 祖父母の年齢(仲よしのほうの)

(%)

	祖 父	祖 母
60歳以下	5.0	9.8
61～65歳	14.9	21.1
66～70歳	18.7	19.8
71～75歳	15.3	15.4
76～80歳	11.0	10.4
81歳以上	7.5	4.9

注) 数字は祖父母の年齢を「知っている」と答えた子どものみ

表14 祖父母の若い頃の仕事(仲よしのほうの)

(人)

	祖 父	祖 母
家業・家事	103	116
農業(関係)	63	66
会社員・公務員	92	36
工員・店員	37	40
その他	62	54

注) 数字は祖父母の若い頃の仕事を「知っている」と答えた子どものみ

表15 祖父母の学歴(仲よしのほうの)

(人)

	祖 父	祖 母
小 学 校	45	45
中 学 校	65	45
高 校	51	96
大 学	57	23

注) 数字は祖父母の学歴を「知っている」と答えた子どものみ



表16 祖父母の健康状態(仲よしのほうの)

(人)

	祖 父	祖 母
とても元気	266(60.0%)	281(62.4%)
まあまあ元気	69(15.5%)	112(24.9%)
病気がち	15( 3.4%)	26( 5.8%)
病気で寝ている	5( 1.1%)	7( 1.6%)
もうなくなっている	89(20.0%)	24( 5.3%)

図22 祖父母と同居できてよかったか

(祖父母と同居している子どものみ)

(%)

とてもそう思う	わりと そう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
67.3	23.0	7.8	1.9

図23 祖父母といっしょに暮らしたかったか

(祖父母と別居している子どものみ)

(%)

とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう 思わない	ぜんぜん そう思わない
35.9	34.8	24.9	4.4

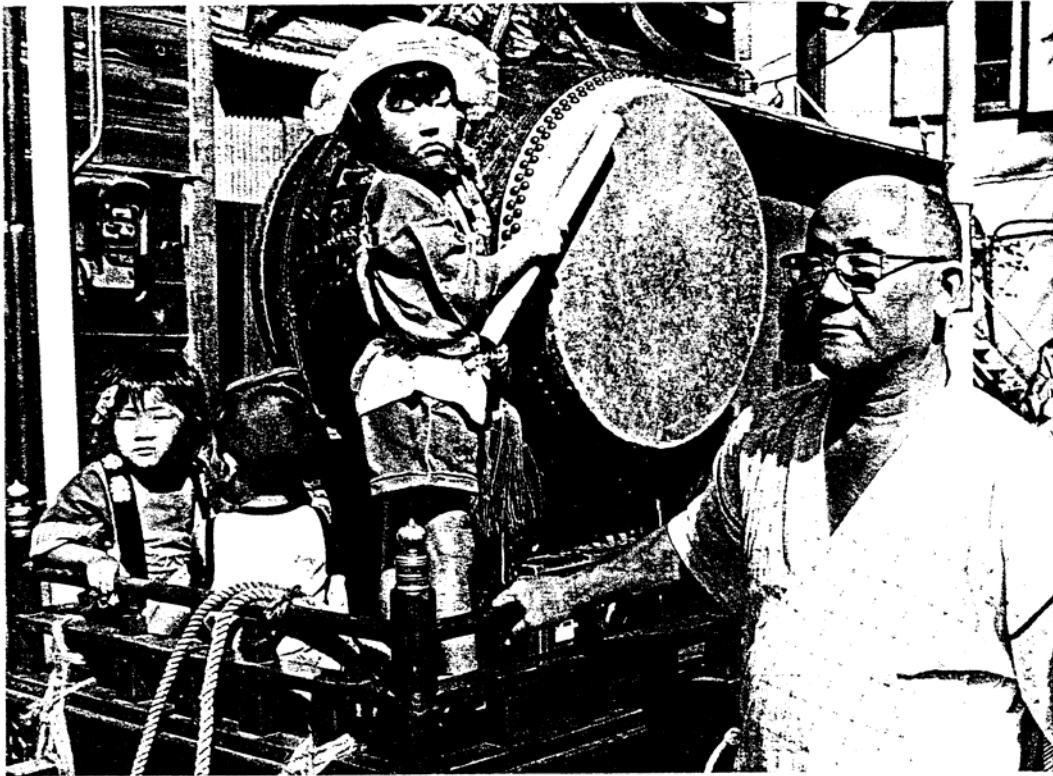
図24 祖父母との同居希望

(祖父母と別居している母親)

(%)

よくある	ときどきある	あまりない	ぜんぜんない
10.4	29.8	36.6	23.2

## 4. 祖父母と高齢者イメージ



### □※□※□ 一般の高齢者イメージ □※□※□

まず高齢者を男性と女性とに分けて、おとな（母親）によるイメージをみてゆこう。表17と表18とによれば、母親は女性高齢者と男性高齢者に対して、プラス面でもマイナス面でもかなりの違いのあるイメージを持っていることがわかる。プラスイメージでは、男性高齢者が「約束を守る」、マイナスイメージでは「わがまま、いばっている、こわい、ふけつ」などの点で女性高齢者と違えてとらえており、女性高齢者に対しては「あたたか

い、やさしい、礼儀正しい、子ども好き、器用」となかなかの評価をしている。マイナス面では「弱々しい、頼りない、いじわる」が挙げられているが、全体としては、女性高齢者のほうがポジティブなイメージを抱かれている。

これに対して子どもは、プラス面でもマイナス面でも高齢者男性と女性とで差の少ないとらえ方をしている。

表17 高齢者と祖父母イメージ(母と子)

〈プラスイメージ〉 (％)

	母 親		子 ども			
	女性高齢者	男性高齢者	女性高齢者	男性高齢者	祖 母	祖 父
あたたかい	82.9	71.5	72.7	75.2	89.7	86.0
やさしい	82.5	75.2	82.6	81.9	93.0	88.7
ものしり	80.3	82.1	66.7	66.8	74.8	74.7
礼儀正しい	76.1	69.7	74.5	72.7	83.2	76.4
約束を守る	75.6	80.7	72.1	70.5	85.0	82.7
子ども好き	73.4	64.6	74.1	68.6	85.3	76.1
器用	71.8	60.3	64.2	56.9	78.9	63.0
尊敬できる	71.6	70.6	59.3	62.9	78.4	81.4

「とても・わりとそう」の割合

表18 高齢者と祖父母イメージ(母と子)

〈マイナスイメージ〉 (％)

	母 親		子 ども			
	女性高齢者	男性高齢者	女性高齢者	男性高齢者	祖 母	祖 父
うるさい	43.2	38.2	17.0	14.7	13.9	11.3
おこりっぽい	21.6	39.1	13.9	13.0	11.0	12.8
わがまま	35.7	43.2	9.1	8.5	8.2	7.9
つかれている	34.3	33.7	25.2	23.6	31.5	25.6
弱々しい	26.9	18.3	12.7	11.8	8.1	6.9
頼りない	21.1	16.7	15.8	10.2	10.1	7.4
いばっている	20.6	38.8	10.9	10.7	7.2	8.3
かわいそう	20.0	21.6	15.9	17.6	17.8	15.9
いじわる	11.5	6.8	5.8	4.5	2.7	2.0
こわい	11.1	23.7	12.9	11.8	12.3	11.4
ふけつ	9.3	17.2	3.8	6.0	1.1	2.3
みっともない	7.3	11.1	5.8	6.2	3.5	4.4

「とても・わりとそう」の割合

## 祖父と祖母

しかし子どもの場合、祖父と祖母では、表17、表18と図25、図28によれば、一般の高齢者よりはイメージの違いがみられる。とくにプラス面でのとらえ方に違いがあり、祖母は

「やさしい、礼儀正しい、子ども好き、器用」の点で祖父とかなりの違いを見いだしている。またマイナス面でも祖母のほうが「つかれている、かわいそう」とかなり共感的である。

図25 祖父と祖母イメージ(子ども)

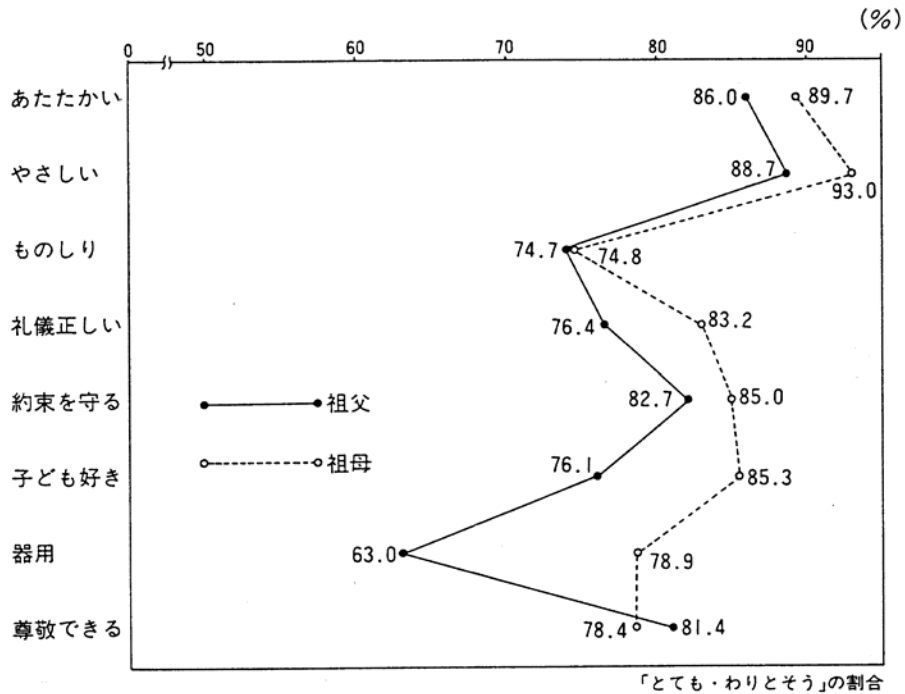


図26 祖母と女性高齢者(子ども)

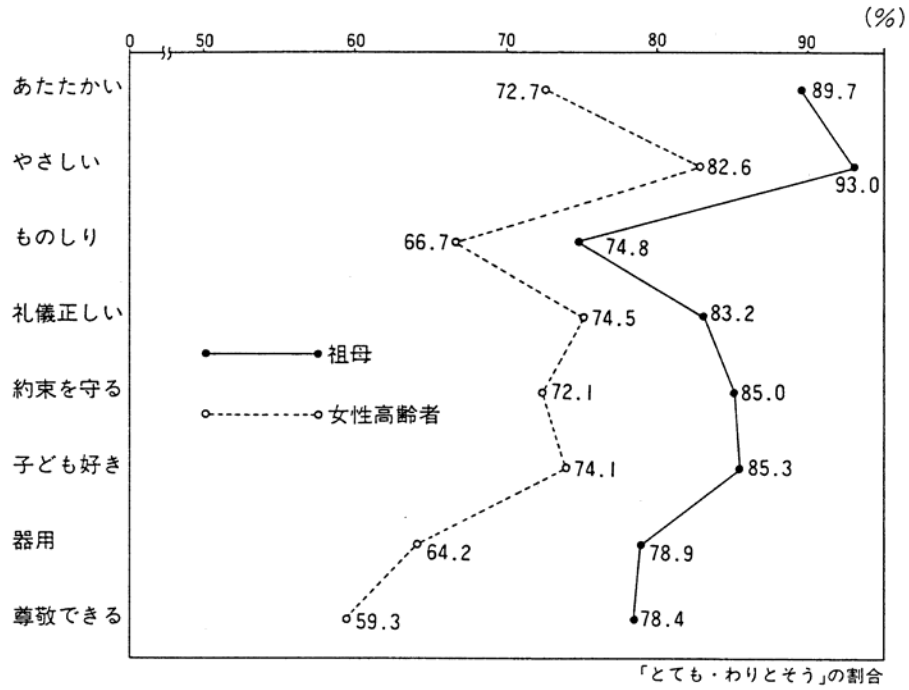


図27 祖父と男性高齢者(子ども)

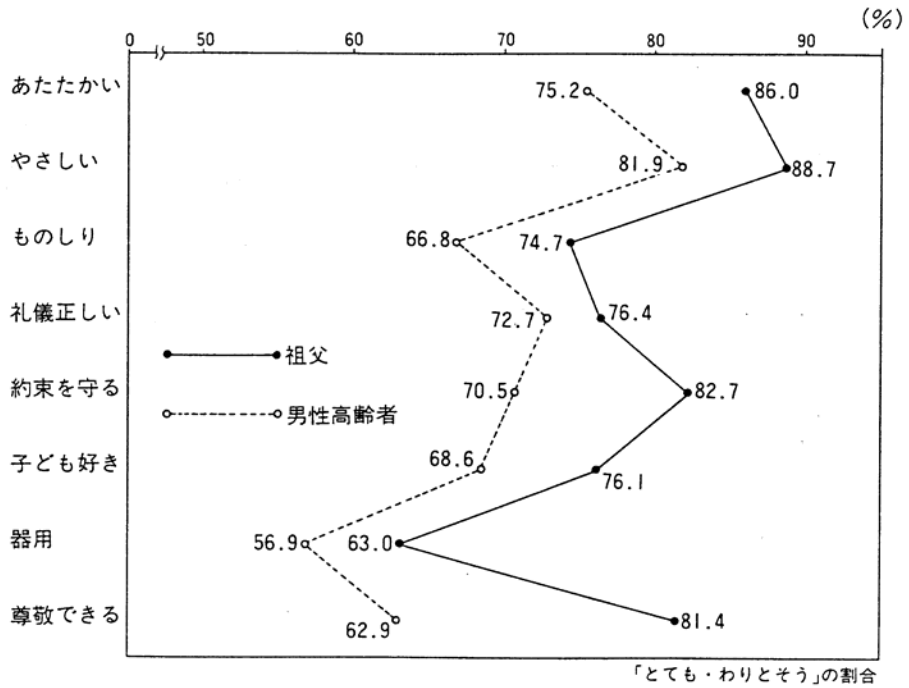
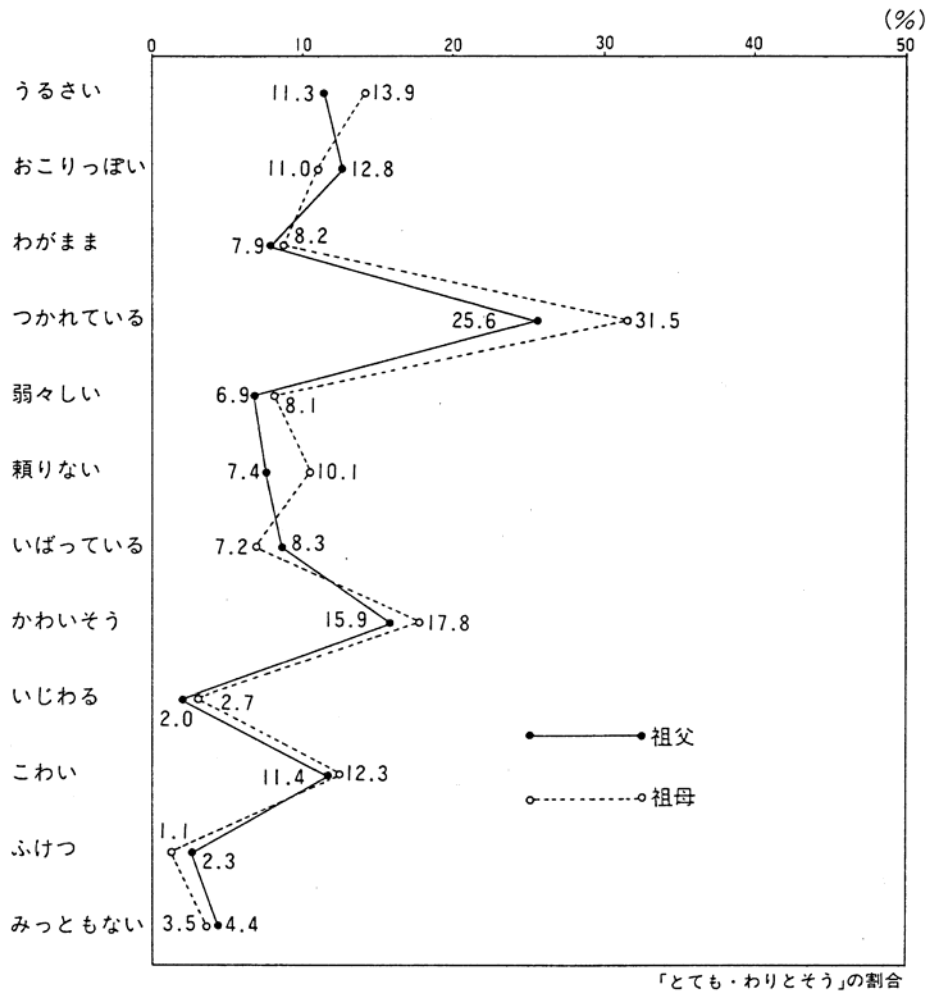


図28 祖父と祖母イメージ(子ども)



## 一般高齢者と祖父母

女性高齢者と自分の祖母、男性高齢者と自分の祖父とのイメージの違いは、図26、図27に示したように、「あたたかい」から「尊敬できる」までのプラス面については大きく差があり、いずれにせよ他人より肉親のほうに大きく甘い評価がされている。しかしマイナス面については、図29、図30で「うるさ

い」から「みっともない」まで、プラス面ほどの差がみられない。祖父と祖母では、やや「祖母－女性高齢者」の間に差があり、「弱々しい」「頼りない」などマイナス面の中でも信頼感を表す面は肯定率が低く、祖母に好意的な評価がされている。また、図30では祖父も同様の傾向が見いだされる。

図29 祖母と女性高齢者(子ども)

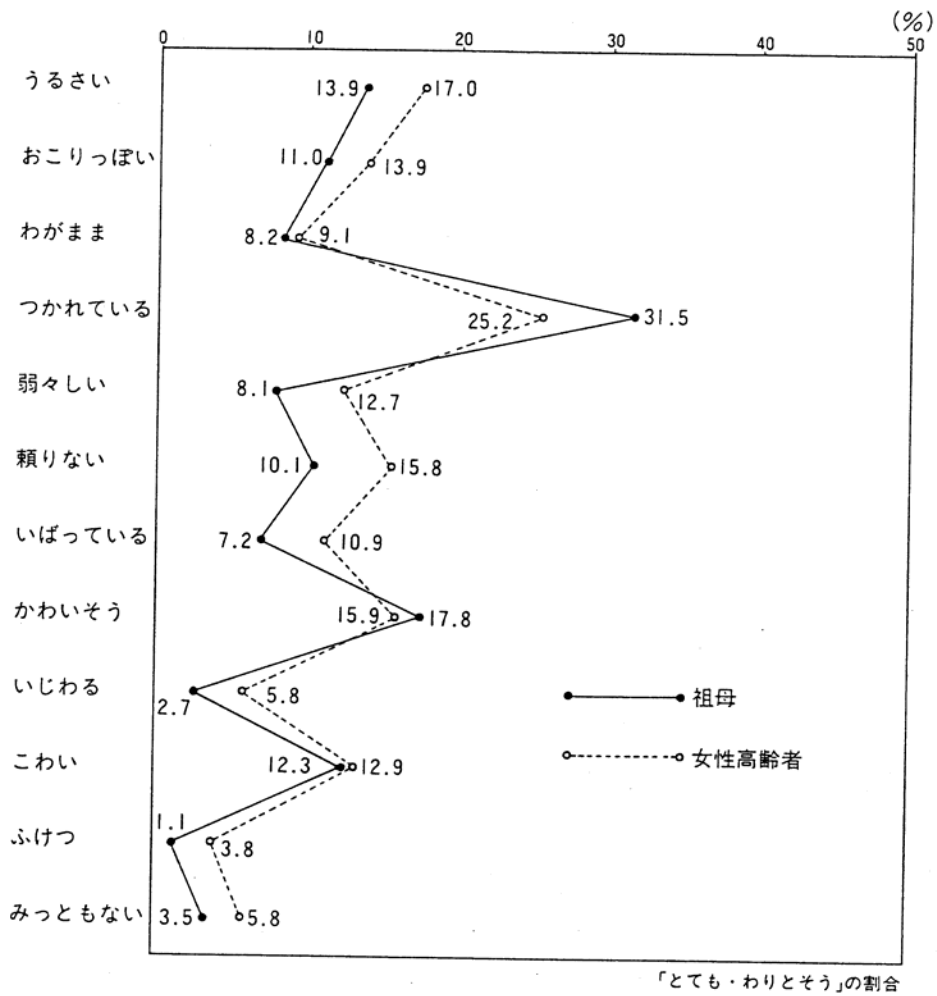
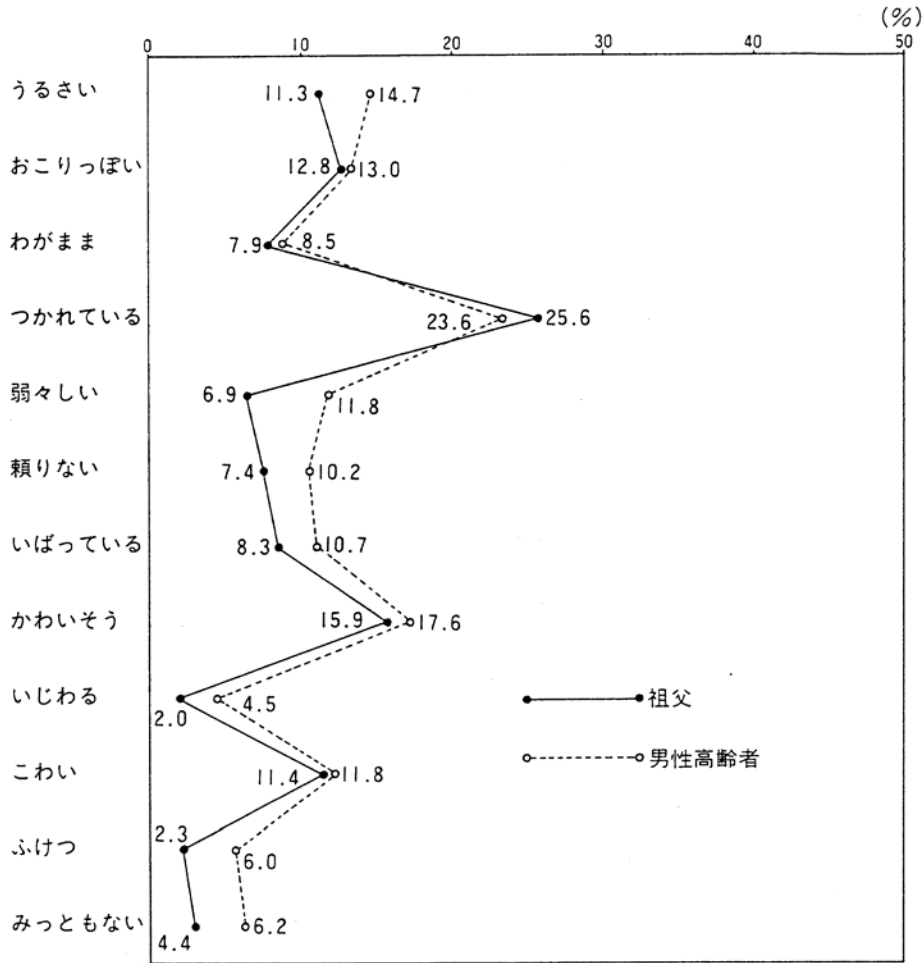


図30 祖父と男性高齢者(子ども)



「とても・わりとそう」の割合

### 地域差

先にみた2つの地域での高齢者に対する態度の差は、イメージの点でどうだろうか。表19、表20、図31から図34にそれを示した。まず図31に示したように「男性高齢者-女性高齢者」のイメージはプラス面ではほとんど変わらない。ただ図33に示したようにマイナス面で、下町のT地区のほうにややネガティブなイメージがみられる。近所に高齢者が多い

地域で、かえってイメージが悪くなるのはなぜだろう。逆にK地区のほうは、実際の接触がないため「理想化」されて、マイナス面を挙げなくなるのだろうか。

また祖父母については、図32、図34でみられるように、プラス面ではK地区の肯定率が高く、マイナス面では下町のT地区の肯定率が高い。すでに図4でみてきたように、下町



のT地区の同居率は46%、郊外のK地区は13%という差は大きく、そうした日常の生活をともにすることが、かえって「古い」のみにくさや汚さを正視させることにつながるのだろうか。としたら、高齢者と若い世代は同居

や近居せず、「遠くにいて思う」ほうがよい関係を生み出すことになってしまう。しかしこの結論はあまりにも悲しい。他に分析のためのデータが加われば、別の解釈も成り立つかもしれない。

表19 地区別一般高齢者・祖父母イメージ

〈プラスイメージ〉

(%)

		一般高齢者	祖父母
あたたかい 3.01 2.2	T地区	73.7	84.9
	K地区	74.2	90.8
やさしい 4.18 0.85	T地区	83.9	88.5
	K地区	80.7	92.9
ものしり 3.8 2.3	T地区	67.9	71.4
	K地区	65.6	77.9
礼儀正しい 3.01 2.7	T地区	71.3	76.5
	K地区	75.8	83.0
約束を守る 3.9 0.5	T地区	71.2	81.0
	K地区	71.4	86.5
子ども好き 0.71 8.21	T地区	70.1	79.6
	K地区	72.5	81.9
器用 7.5 0.1	T地区	60.2	66.5
	K地区	61.0	75.3
尊敬できる 3.41 2.2	T地区	57.6	74.8
	K地区	64.6	84.5

「とても・わりとそう」の割合

表20 地区別一般高齢者・祖父母イメージ

〈マイナスイメージ〉 (％)

		一般高齢者	祖父母
うるさい	T地区	17.2	13.2
	K地区	14.5	8.9
おこりっぽい	T地区	17.0	15.1
	K地区	9.9	8.8
わがまま	T地区	10.5	10.5
	K地区	7.3	5.5
つかれている	T地区	25.9	31.4
	K地区	23.1	26.0
弱々しい	T地区	12.7	8.3
	K地区	11.8	6.9
頼りない	T地区	13.4	10.3
	K地区	12.8	7.3
いばっている	T地区	11.8	9.6
	K地区	9.9	6.0
かわいそう	T地区	16.1	17.0
	K地区	17.4	16.8
いじわる	T地区	5.9	2.7
	K地区	4.4	1.9
こわい	T地区	14.2	14.4
	K地区	10.6	9.5
ふけつ	T地区	5.6	1.9
	K地区	4.2	1.5
みっともない	T地区	6.6	5.0
	K地区	5.5	3.0

「とても・わりとそう」の割合

図31 イメージの地域差(一般高齢者)

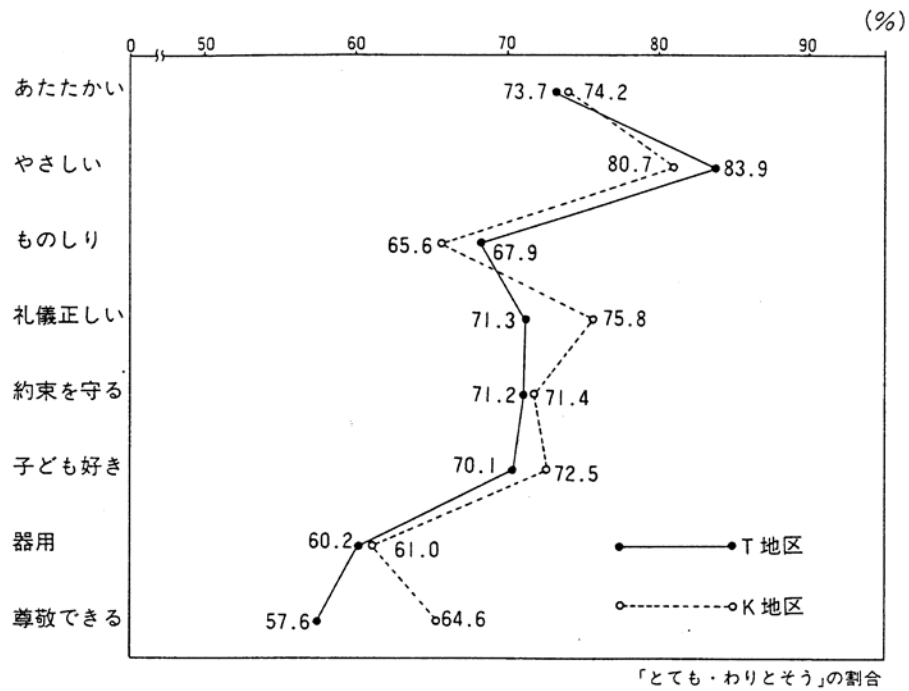


図32 イメージの地域差(祖父母)

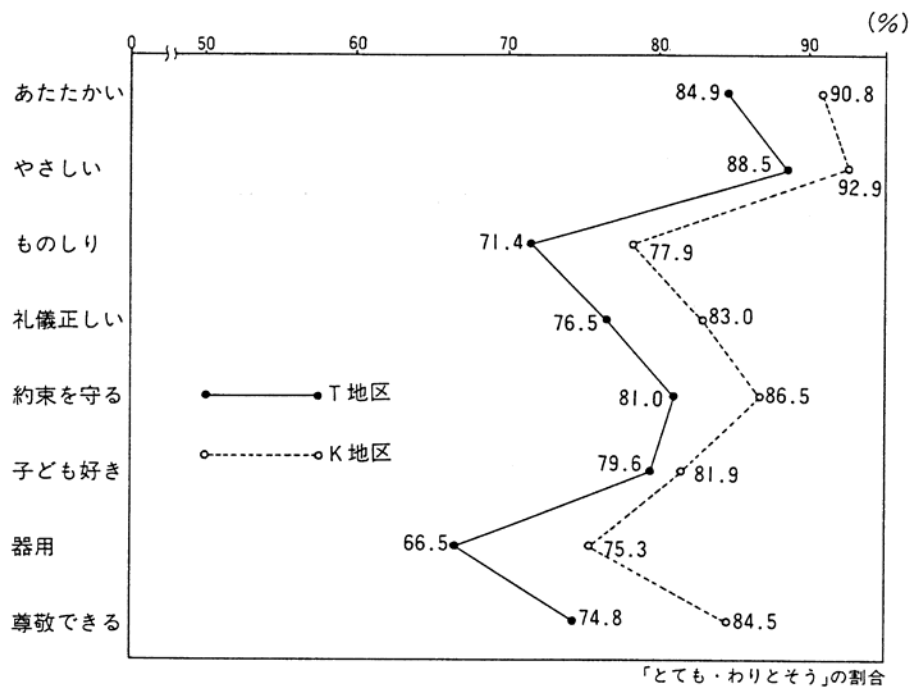


図33 イメージの地域差(一般高齢者)

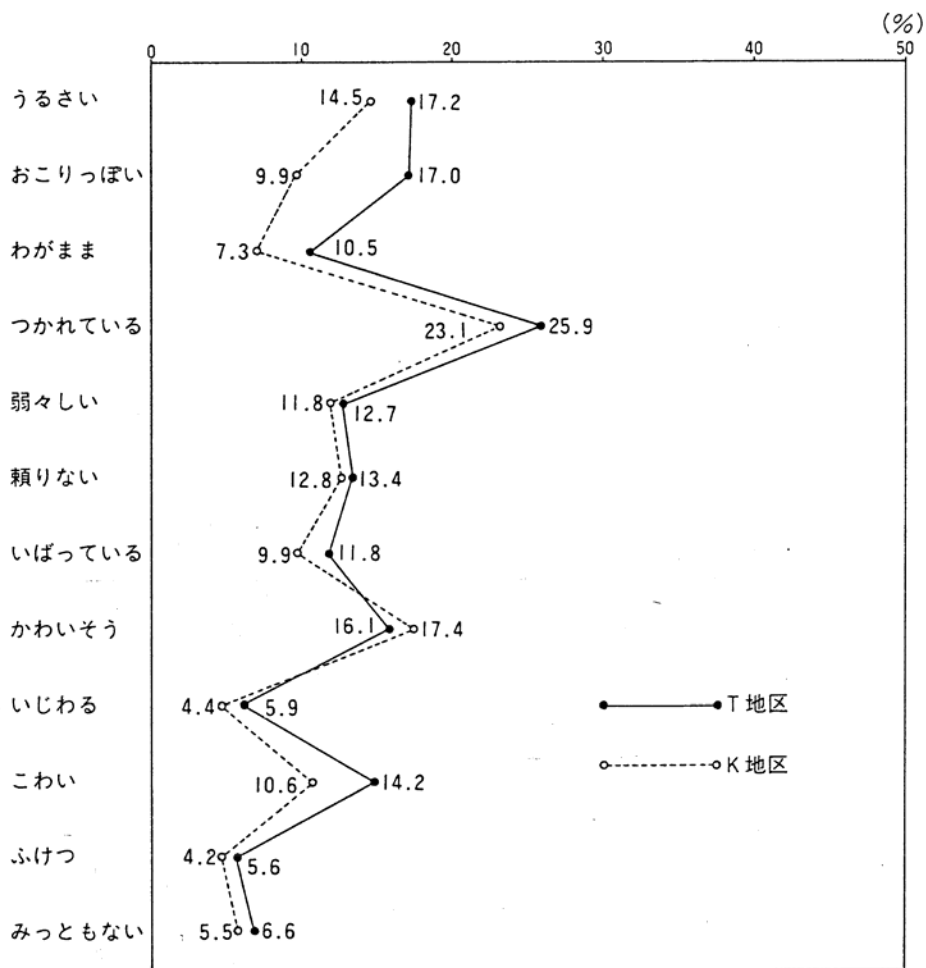
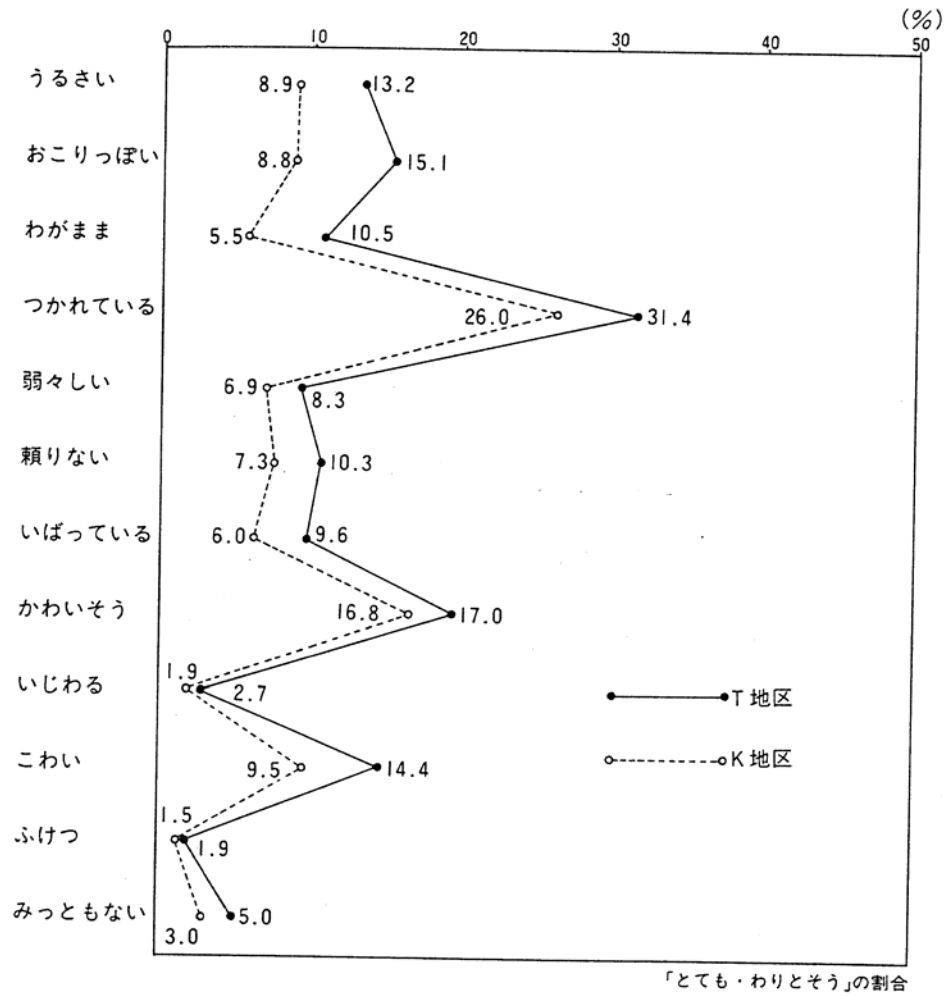


図34 イメージの地域差(祖父母)



## 母親と子どもの間で

まず図35、図36は、母親による一般の高齢者イメージについてみてみた。

図35のプラス面も図36のマイナス面も一般高齢者（男性、女性）の間で大きな差があり、長所も短所も大きく拡大された形で把握されている。

すなわち女性高齢者は「あたたかい、やさしい、礼儀正しい、子ども好き、器用」で、男性高齢者は「ものしり」で「約束を守る」、

しかしマイナス面も女性高齢者は「うるさい、弱々しい、頼りない、いじわる」、男性高齢者は「わがまま、いばっている、こわい、ふけつ、みっともない」で、これは一種の「偏見」に近いステレオタイプのようにも思う。表17をみると子どもたちは一般高齢者について、もっと差のない、そして全体として好意的な見方をしているのである。

図35 母親の一般高齢者イメージ

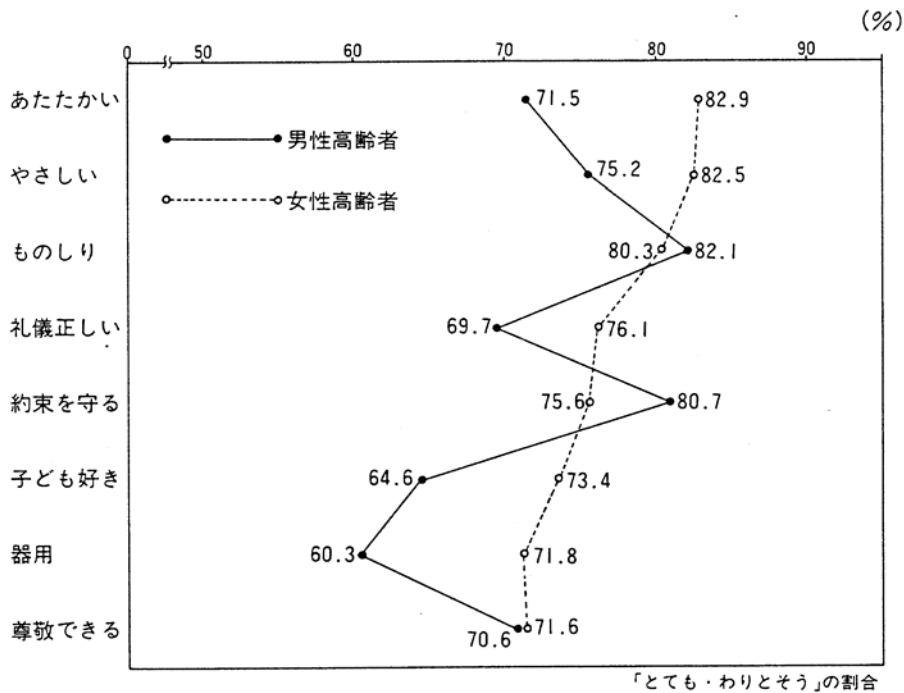


図36 母親の一般高齢者イメージ

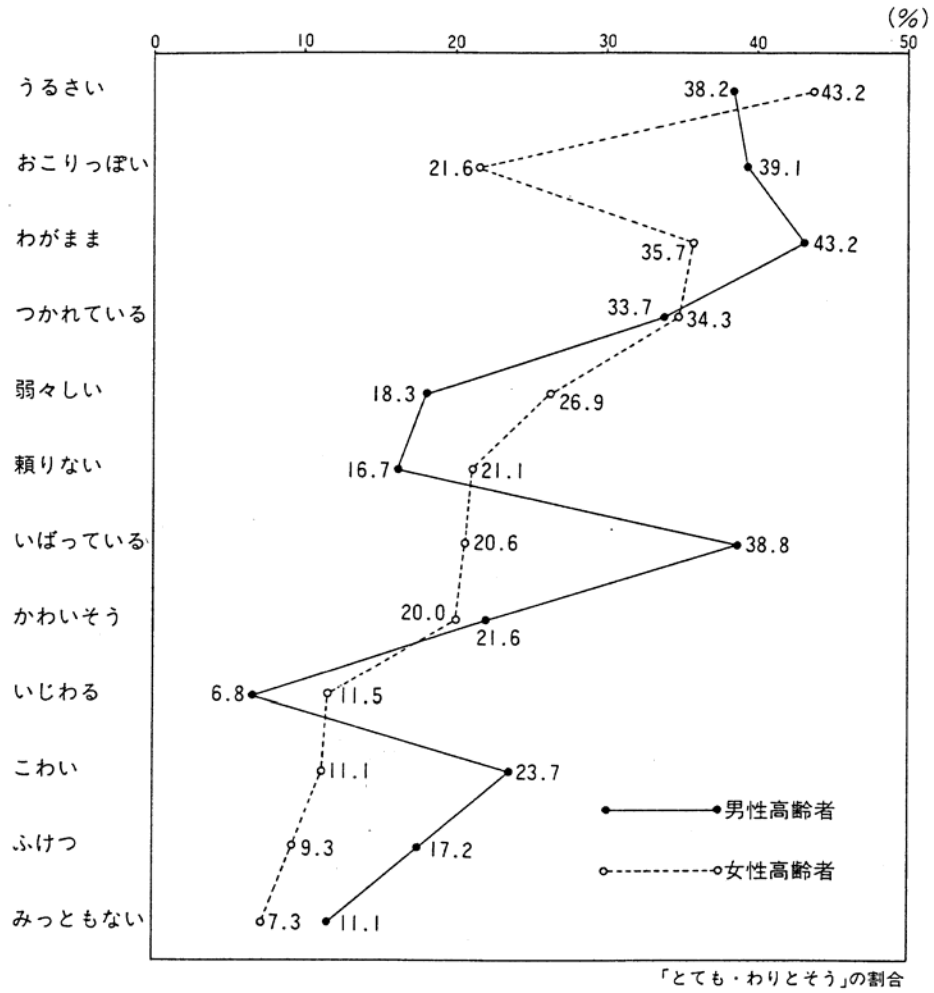


図37 女性高齢者イメージ(母-子)

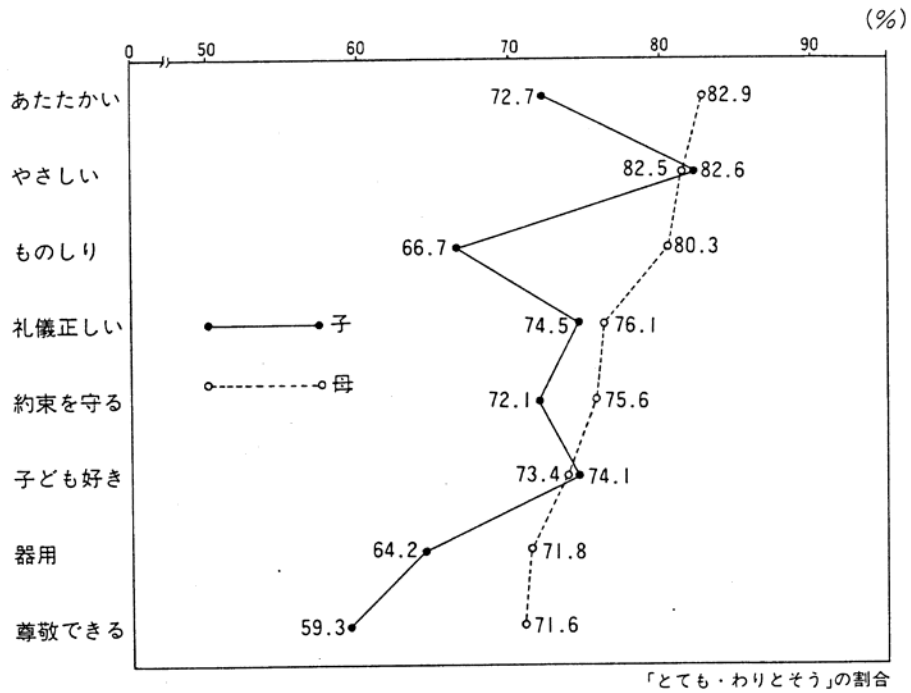
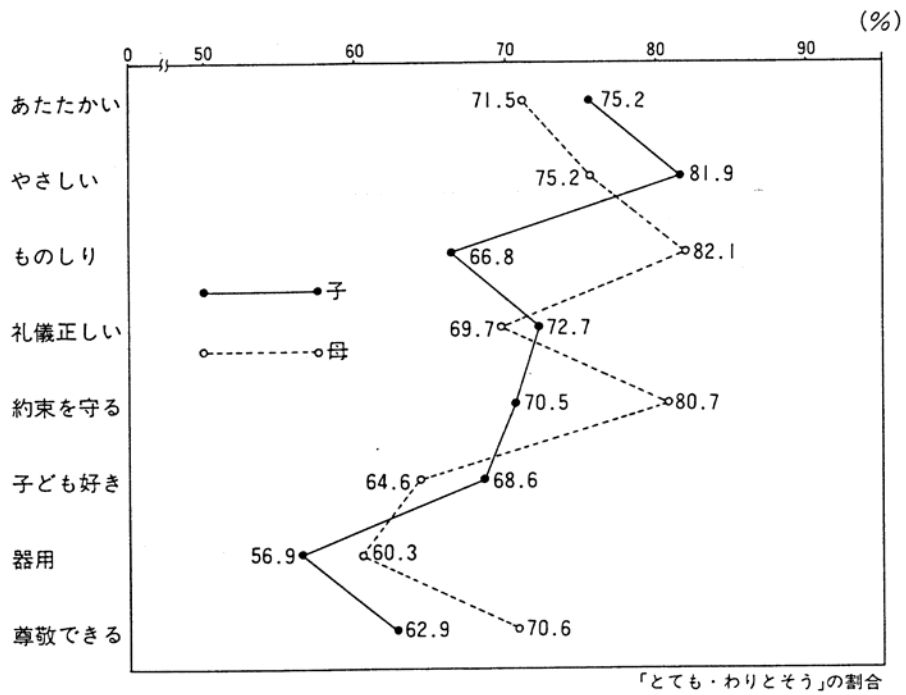


図38 男性高齢者イメージ(母-子)







## まとめ

以上子どもと祖父母、高齢者との間の関係と、それらの人びとに対するイメージをみてきた。おとな（母親）よりは子どもは、肉親である祖父母に対しても一般高齢者に対しても、あたたかくバイヤスのかからない見方をしているように見うけられる。それに比べると、おとな（母親）の中には高齢者に対するステレオタイプな見方が形成されているかのような印象も受ける。ちなみにいくつかの相関係数は次の通りである。

子ども1) 祖母イメージ得点と 一般女性高齢者イメージ得点 $r = 0.54674$
2) 祖父イメージ得点と 一般男性高齢者イメージ得点 $r = 0.42867$

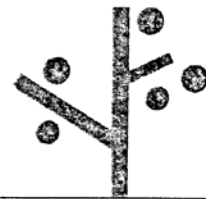
これに対して、母親と子どもの女性高齢者イメージの相関係数は  $r = 0.27643$ 、同じく男性高齢者については母子間で  $0.17837$  と、相関は低かった。つまり子どもが祖父母にどういうイメージを形成するかが、社会の高齢者に対するイメージを生み出すキーの一つになるのであろうし、そのためには子どもが幼いときに、またその成長のプロセスでどう祖父母と良好な関係をつくってゆくかが、これからの家庭教育、学校教育、社会教育の課題となるであろう。

しかも「同居、近居」しながらの相互による関係をどうつくり出すか——これが一つの難しい課題となりそうだ。

（注 本稿は船越恵子の平成元年度東京学芸大学修士論文「子どもの老人観の形成要因に関する研究」のデータの一部を基に、新たに作成したものである。）

## バンコクその1 ある私立学校で

放送大学客員教授  
深谷昌志



### ストリート・チルドレンの姿がない

昨年末、バンコクへ飛んだ。はじめ、10月を予定したのだが、学期休みで、どの学校もクローズしているという。2学期制であり、ちょうど10月が休みにあたるということで、やむなく、12月末に出かけることになった。

いちばんの冬将軍が到来したという日の朝、成田を出発した。外の気温は3度、そして、6時間半のフライトの後、バンコクに着くと、外気は30度だった。

真冬から真夏へとびこんだようで、汗がふき出してくる。もっとも、ホテルまでクーラーのきいた車に乗ったから、あまりえらそうなことはいえない。

市内に近づくと、奇妙な車が目につく。昔なつかしいオート三輪が客を乗せて走っている。マニラでは、ジープをかざりたて、音楽をガンガン流しながら走るジブニーを見て驚いたが、バンコクの三輪車はサムローというらしい。

ガイドの話によると、メーターがついていないので、行き先をいって値段を交渉すると

か。もちろん相乗りもあるが、交通渋滞をしていても、すき間を見つけてスイスイと通り抜ける。残念ながらオープンカーなので暑そうなのはたしかだが、ちょっと乗ってみたい気がする。しかし、ほとんど英語を話せないというので、試乗は断念した。もっとも、メーターがついていないのはタクシーも同じだというから、バンコクで行動するためにはタイ語を話すことが必要になる。

もっとも、タイ語は子音44、母音が32あるといわれ、母音の発音を習ってみたが、むずかしすぎて、すぐに断念した。というわけで、バンコクでは滞在中、通訳に行動をともにしてもらった。

そうした印象はともかく、ホテルに着くまでの間、アジアの多くの町で見かけるような物売りをする子どもの姿がなかった。マニラなどでは、花やタバコ、新聞を売る子どもが多かったし、ホテルで車がとまると、ドアを開けてチップをかせごうとする子が集まってくる。

安定した家庭で保護を受けることができず、町をさまよう子どもたち。つまり、スト

リート・チルドレンの姿を見かけるのが、NIES以外のアジアの町であった。しかしバンコクでは、概観したところでは、ストリート・チルドレンの姿は少なかった。

もちろんバンコク滞在中に、水上生活者の集落を訪ねた。大きなスラム街で、学校に行けない子も多いと聞く。したがって、バンコク全体がストリート・チルドレンと無縁の町ということとはできないが、アジアの中では、子どもたちが安定した生活を送っている町という印象を受けた。

### 車のある暮らし

ホテルで一泊した翌日、とりあえず市内の私立小学校を訪ねた。というのは、公立学校を見学しなかったのだが、行政官庁に書類を提出し、承認を受けないと、学校の中に入れないという。

これまで多くの社会を訪ねたが、公立学校のカードがこれほど固い国は始めてだった。そこで、公立学校の認可がおきるまでの間、私立学校を見学することにした。

アジアは貧しいという。そうした貧しさを学校サイドにひきつけて考えてみると、公立

の学校が貧しく、それと対比的に、ほんの一握りの豊かな私立学校がある。マニラやクアラルンプール、香港などでも、私立学校の設備はすばらしいものだった。

バンコクの場合、それほどとびぬけてリッチというわけでもないが、S小学校は地元では良い家庭の子が通っているという評価の高い学校である。

実をいうとこの学校には、バンコクへ行く前に、1回目の国際比較調査のアンケートをタイ語に訳してもらい、プリテストを行ってもらっていた。

そこで、私立学校の子どもたちがどういう生活を送っているか、いくつかのデータを紹介することにしたい。

まず、通学の仕方は表1の通りで、ほとんどの子が親たちの車に乗って登校してくる。といってもそれほど驚かないように思うが、乗用車には200%の税金がかかるので、コ罗纳クラスの車で300万円くらいの値段になる。

大学卒の初任給がほぼ2万円、コンピュータ関係の技師で3万円程度であるから、庶民にとって車は高嶺の花という感じになる。もっとも、生活費そのものは安く、東南アジア

表1 通学の手段

	バンコク	日本
徒 歩	4.3%	99.2%
乗 用 車	95.7%	0.0%
そ の 他	0.0%	0.8%
所要時間	45.3分	26.0分

の多くの町と同じように、早朝から屋台が並んでいるが、かゆやラーメンはほぼ10パーツ（50～60円）なので、物価そのものは安く、暮らしやすいが、それにしても車は高く、耐用年数を超えたと思うような車が町を走っている。

もっとも、この学校の校門にとまる車はベンツやフォードなどの高級車揃いで、さすがに上流家庭の子の通う学校という感じがする。

子どもたちに将来の学歴を尋ねてみた。表2のように、98%、つまりほぼ100%の子が大学進学、中でも外国の大学への進学を望む子が67.3%と、3分の2を超える。

なお、つきたい仕事についての反応は、表3の通りで、医師や芸術家、そして、大会社の社長など、ビッグな対象にあこがれる子が4割に達する。

表2 将来の進学期待

(%)

	バンコク	日本
中学校	2.0	2.3
高校	0.0	35.9
大学の進学	98.0	61.8
(内、外国の大学)	67.3	12.8

表3 つきたい仕事

(%)

	バンコクの子供			日本の子供
	男子	女子	全体	
医者	44.4	50.0	48.0	9.9
大会社の社長	61.1	37.5	46.6	17.9
芸術家	27.7	46.9	40.0	14.3
テレビタレント	16.6	40.6	32.0	21.4
大学の先生	5.6	21.8	16.0	6.4
政治家	22.2	9.4	14.0	4.7

注) バンコクは複数回答



### ビッグな目標へのあこがれ

今回の調査は、国際比較を目的としているので、実をいうと、このあと公立学校とのコンタクトがとれ、2月に市内の学校で本調査を行うことになった。したがって、いずれ近いうちに、私立学校とは別のふつうの子の反応を紹介する予定だが、それにしてもビッグを目指す割合が多いのに驚く。

こうした私立学校の子どもたちは大学へ進み、そして、ビッグな仕事につけるのを信じているので、図1のように「早くおとなになりたい」と思っている。さらに将来の自分についてのイメージも、図2の通りで、人に好かれ、仕事面で成功し、しあわせな家庭を築けそうだと、子どもたちは信じている。

なお、この子どもたちは家庭へ戻って、ほとんど手伝いをしていない。お手伝いさんが多く、手伝う必要はないのであろう。また、テレビ視聴も1時間前後と短く、かなりきちんとした生活を送っている印象を受ける。

バンコクでは、私立学校の学費はどの学校とも2,700バーツ(約1万5,000円)で、決して高くはないが、入学にあたって、かなりの寄付を求められるらしい。

したがって、今回紹介したのは一握りの限られたエリート家庭に住む子どもの反応だが、なんとも自信にあふれた自己像が印象に残った。日本の場合、良くも悪くも、強烈なカラーを持った私立学校が少ないのに気づく。

たまたまこの原稿を書いている折、文化学院を創設した西村伊作について書いた『大正の夢の設計家』(加藤百合著、朝日新聞)が出版された。西村伊作が文化学院という形で自由で個性的な学園を作ったことを描いたものだが、日本でももう少し個性のある私立学校が作られても良いのにと考えた。

私立学校を見学した翌日、今度はバンコクから300キロほど離れた地方都市を訪ね、公立学校の授業を見せてもらった。子どもたちの姿は私立学校とそれほど変わりはないが、もちろん校門の前に乗用車が一台もとま

っていなかった。この学校の話は次回にふれることにしたい。

〔付記〕

今日のバンコク行きでは住友商事バンコク駐在員の塩沢幸夫・孝子夫妻、チュラロンカ

コン大学大学院生・上田玲子さんのお世話になった。いつものことながら、現地の事情に通じている人の手助けで効率良く取材を行うことができた。

図1 早くおとなになりたいか

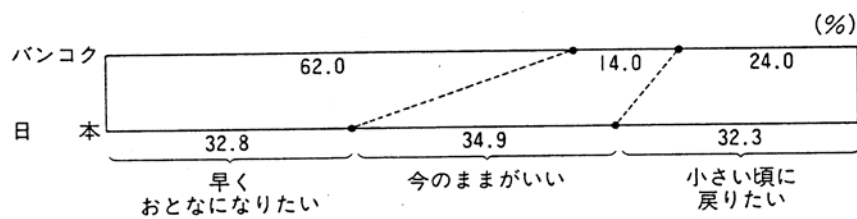
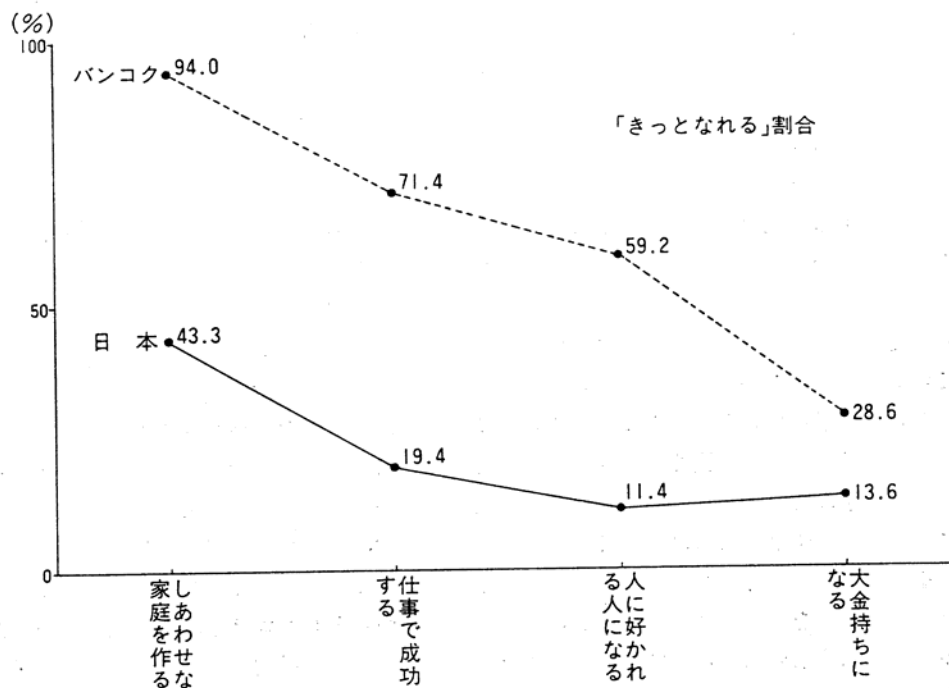


図2 将来の自分



子ども用 (祖父について)

●単位：サンプル数以外はパーセント

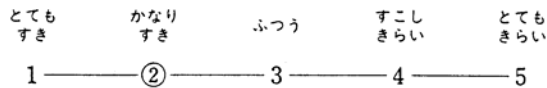
ちやうどのおねがい



これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスがすきですか？



あなたがもしカレーライスをも **かなりすき** だと思ったら上のように番号のところを○でかこんでください。

〔1〕 まず、あなたのことを教えてください。

学校名……………( T地区 447 ) 小学校  
 K地区 495  
 学 年……………( 4年 133 ) 年 (男・女)  
 5年 436  
 6年 373 475 467  
 きょうだい……………( 1人 76 ) 人きょうだいの ( ) ばんめ  
 2人 526  
 3人 270  
 4人以上 51

〔2〕 今、あなたはおとしよりとつぎのようなことをすることがありますか。

	よくある	ときどきある	たまにある	ほとんどない	NA
(1) あいさつをする……………	32.8	36.2	19.8	11.0	0.2
(2) おはなしをする……………	29.4	30.8	22.9	16.7	0.2
(3) 電車やバスで席をゆずってあげる……………	12.7	40.3	27.5	19.3	0.2
(4) 老人ホームに行ったことがある……………	1.2	1.5	6.8	90.3	0.2
(5) いたづらをして、しかられた……………	3.4	10.2	14.3	72.0	0.1

● 資料1 調査票見本および集計表

〔3〕 あなたの近所のおじいさんは、どんなおじいさんが多いと思いますか。  
つぎのことばのあてはまるところに○をつけてください。

近所のおじいさんは、	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	N A
やさしい	38.3	43.6	11.6	2.7	3.8
あたたかい	28.3	46.9	14.8	6.0	4.0
いばっている	3.8	6.9	32.9	51.9	4.5
みっともない	1.3	4.9	29.2	60.4	4.2
弱々しい	1.3	10.5	42.8	41.2	4.2
こわい	3.8	8.0	32.7	51.3	4.2
器用	21.4	35.5	26.9	11.4	4.8
うるさい	6.7	8.0	33.0	47.6	4.7
子ども好き	30.6	38.0	19.3	7.3	4.8
いじわる	2.0	2.5	25.1	65.9	4.5
ふけつ	1.8	4.2	20.9	68.9	4.2
ものしり	31.2	35.6	22.2	5.4	5.6
おこりっぽい	4.5	8.5	36.4	46.1	4.5
かわいそう	5.1	12.5	33.8	43.9	4.7
礼儀正しい	31.2	41.5	15.8	7.3	4.2
つかれている	6.5	17.1	42.4	29.8	4.2
わがまま	2.2	6.3	25.3	61.5	4.7
頼りない	3.3	6.9	36.2	48.9	4.7



	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
尊敬できる……………	22.9	40.0	25.1	7.3	4.7
約束を守る……………	31.1	39.4	18.7	6.1	4.7

[4] あなたが、ふだん感じるように教えてください。

	とても そう	わりと そう	すこし そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
(1) わたしは家にいると楽しい……………	26.4	32.8	21.6	13.1	5.2	0.9
(2) わたしは家でいらいらすることがよ くある……………	12.7	20.3	27.9	24.2	14.0	0.9
(3) お母さん(またはお父さん)は私の はなしをよく聞いてくれる……………	32.5	33.5	17.6	12.6	3.1	0.7
(4) お母さん(またはお父さん)は私の 気持ちをわかってくれる……………	25.0	33.0	23.4	12.7	4.6	1.3
(5) お母さん(お父さん)とおじいさん、 おばあさんはなかよしだ……………	52.1	25.9	11.1	5.5	2.6	2.8
(6) 家の近くに、おとしよりがっぱ いる……………	16.5	17.8	14.6	25.0	24.3	1.8
(7) おとしよりがバスや電車の中で立 っているとかわいそうだ……………	48.8	31.0	14.1	3.2	2.0	0.9
(8) おとしよりは、もっと大切にされ るべきだ……………	52.6	29.2	12.9	3.6	0.6	1.1
(9) 私の学校の成績はよいほうだ……………	12.7	24.0	29.2	22.6	9.9	1.6

[5] あなたのおじいさん・おばあさんのことについて教えてください。

(1) あなたは、おじいさん・おばあさんといっしょにくらしたことがありますか。

	今、いっしょに くらしている	前はいっしょ だったが、 今は家にいない	いっしょに くらしたこと がない	NA	
お父さんのほうの	おじいさん……………	11.1	11.6	73.5	3.8
	おばあさん……………	19.1	10.7	67.5	2.7

● 資料1 調査票見本および集計表

	今、いっしょに くらしている	前はいっしょ だったが、 今は家にない	いっしょに くらししたこと がない	NA
お母さんのほうの	おじいさん…… 6.9	10.4	79.6	3.1
	おばあさん…… 10.3	12.6	74.6	2.5

(2) あなたは、おじいさん・おばあさんを、どのくらい好きですか。

	とても 好き	わりと 好き	あまり 好きでない	きらい	おぼえて いない	NA
お父さん のほうの	おじいさん…… 41.0	20.4	5.0	0.9	27.9	4.8
	おばあさん…… 52.5	25.9	5.8	1.4	11.6	2.8
お母さん のほうの	おじいさん…… 54.5	20.1	3.2	0.3	17.7	4.2
	おばあさん…… 65.2	21.0	3.3	1.0	6.6	2.9

☆ここからは、あなたのおじいさんのことをききます。

〔6〕 あなたは、父親と母親のどちらのほうのおじいさんとなかよしですか。

1. どちらかといえば、お父さんのほうのおじいさんとなかよし 37.2

2. どちらかといえば、お母さんのほうのおじいさんとなかよし 62.8

(1) あなたは、なかよしのほうのおじいさんのことをどれくらい知っていますか。

	知って いる	知らない	NA
その、おじいさんの名前……	76.9	18.3	4.8
その、おじいさんの年……	59.1	36.3	4.6

→ ( ) さいくらい

～60歳	5.0	71～75歳	15.3
61～65歳	14.9	76～80歳	11.0
66～70歳	18.7	81歳～	7.5

その、おじいさんの若いころの仕事

1. 自分の店をやっていた	22.3	4. 先生や会社員	8.7
2. 農業	13.6	5. その他	13.2
3. 工場や店につとめていた	19.8	6. 知らない	19.7
			NA 2.7

	小学校	中学校	高校	大学	知らない	NA
おじいさんが最後に卒業した学校…	9.8	14.1	11.1	12.4	49.1	3.5

	とても 元気	まあまあ 元気	病気がち	病気で ねている	なくなっ ている	知ら ない	NA
そのおじいさんは、今元気ですか…	57.5	14.9	3.2	1.1	19.2	1.7	2.4

〔7〕 あなたは今までに、おじいさんと、つぎのようなことをしたことがありますか。

(1) ちいさいころいろいろ世話を してもらった…	よく あった	ときどき あった	あまり なかった	ほとんど なかった	おぼえて いない	NA
	50.3	13.4	9.1	7.6	16.8	2.8
(2) いっしょに買い物にいたり遊ん でもらったりした…	38.7	21.6	11.3	12.6	13.0	2.8
(3) おじいさんの、むかしのはなしを してもらった…	19.8	16.3	15.7	24.5	20.7	3.0
(4) 電話をしたり手紙を書いた…	23.8	20.0	15.8	23.5	12.3	4.6
(5) おくりもの(プレゼント)をもら った…	45.6	16.9	14.1	8.7	11.9	2.8
(6) おこづかい(お年玉)をもらった…	76.2	8.7	3.0	3.0	5.6	3.5
(7) おじいさんのたんじょうびのお祝 いをした…	26.0	13.6	8.4	29.7	19.3	3.0
(8) いたずらをして、しかられた…	6.1	9.5	11.9	52.8	16.9	2.8

● 資料Ⅰ 調査票見本および集計表

〔8〕 おじいさんといっしょにすんでいる人だけにききます。  
(いっしょにすんでいない人は〔9〕にすすんでください。)

	とても そう	わりと そう	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
あなたは、おじいさんと同じ家に すんでいてよかったですか……	70.2	21.8	5.9	2.1

〔9〕 おじいさんといっしょにすんでいない人だけにききます。  
(いっしょにすんでいる人は〔10〕にすすんでください。)

	ほとんど 毎日あう	週に 1~2回あう	月に 1~2回あう	年に 数回あう	ほとんど あわない	もう いない
(1) あなたはおじいさんと よくあいますか……	7.4	10.1	14.4	34.0	14.1	20.0

	とても そう	わりと そう	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
(2) あなたは、おじいさんと同じ家で いっしょにすみたかったと思いますか……	36.1	34.5	25.2	4.2

〔10〕 あなたのおじいさんは、どんな人ですか。  
つぎのことばのあてはまるところに○をつけてください。  
もう、なくなった(死んでしまった)場合でも、思いだして書いてください。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
わたしの(ぼくの)おじいさんは、 やさしい……	68.6	20.1	4.0	0.4	6.9
あたたかい……	56.6	29.4	6.3	0.7	7.0
いばっている……	2.7	5.6	20.5	64.1	7.1
みっともない……	1.1	3.3	17.2	71.5	6.9
弱々しい……	2.2	4.7	21.9	64.1	7.1
こわい……	3.6	7.8	26.1	55.1	7.4
器用……	37.9	25.1	21.7	7.2	8.1
うるさい……	3.6	7.7	28.0	57.1	3.6
子ども好き……	51.6	24.5	12.6	3.6	7.7

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
いじわる……………	0.2	1.8	13.5	77.3	7.2
ふけつ……………	0.7	1.6	12.7	77.9	7.1
ものしり……………	45.2	29.5	13.4	4.5	7.4
おこりっばい……………	3.4	9.4	23.7	56.1	7.4
かわいそう……………	6.3	9.6	24.7	52.2	7.2
礼儀正しい……………	45.2	31.2	11.7	4.3	7.6
つかれている……………	9.9	15.7	31.4	35.6	7.4
わがまま……………	2.5	5.4	15.4	69.5	7.2
頼りない……………	2.7	4.7	21.3	63.9	7.4
尊敬できる……………	46.9	34.5	8.3	3.1	7.2
約束を守る……………	54.6	28.1	8.3	1.6	7.4

これで終わりです。長い間、どうもありがとう！

## 子ども用（祖母について）

●単位：パーセント

〔3〕 あなたの近所のおばあさんは、どんなおばあさんが多いと思いますか。  
つぎのことばのあてはまるところに○をつけてください。

近所のおばあさんは、	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
やさしい	38.4	44.2	12.5	2.9	2.0
あたたかい	29.9	42.8	20.3	4.5	2.5
いばっている	4.0	6.9	31.4	55.3	2.4
みっともない	1.8	4.0	28.5	63.0	2.7
弱々しい	1.1	11.6	43.0	41.4	2.9
こわい	3.1	9.8	31.8	52.6	2.7
器用	26.1	38.1	21.6	10.4	3.8
うるさい	5.6	11.4	32.3	48.0	2.7
子ども好き	36.0	38.1	16.9	6.3	2.7
いじわる	1.8	4.0	25.9	65.6	2.7
ふけつ	1.1	2.7	24.3	69.5	2.4
ものしり	28.4	38.3	23.0	8.1	2.2
おこりっぽい	3.6	10.3	37.1	46.8	2.2
かわいそう	3.8	12.1	32.6	48.6	2.9
礼儀正しい	36.2	38.3	17.9	5.1	2.5
つかれている	6.9	18.3	42.8	29.3	2.7

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
わがまま……………	2.2	6.9	25.9	62.3	2.7
頼りない……………	2.9	12.9	35.9	45.6	2.7
尊敬できる……………	23.9	35.4	28.8	9.4	2.5
約束を守る……………	33.0	39.1	18.7	6.5	2.7

☆ここからは、あなたのおばあさんのことをききます。

〔6〕 あなたは、父親と母親のどちらのほうのおばあさんとなかよしですか。

1. どちらかといえば、お父さんのほうのおばあさんとなかよし 37.3
2. どちらかといえば、お母さんのほうのおばあさんとなかよし 62.7

(1) あなたは、なかよしのほうのおばあさんのことをどれくらい知っていますか。

	知って いる	知ら ない	NA
その、おばあさんの名前……………	86.5	12.6	0.9
その、おばあさんの年……………	65.8	33.1	1.1

→ ( ) さいくらい

～60歳	9.8	71～75歳	15.4
61～65歳	21.1	76～80歳	10.4
66～70歳	19.8	81歳～	4.9

その、おばあさんの若いころの仕事

1. 家の仕事だけしていた	25.0	4. 先生や会社員	8.7	
2. 農業	14.3	5. その他	11.7	
3. 工場や店につとめていた	7.8	6. 知らない	31.6	NA 0.9

● 資料1 調査票見本および集計表

おばあさんが最後に卒業した学校	小学校	中学校	高校	大学	知らない	NA	
	9.8	9.6	20.9	4.9	52.5	2.3	
そのおばあさんは、今元気ですか	とても元気	まあまあ元気	病気がち	病気でねている	なくなっている	知らない	NA
	61.1	24.3	5.7	1.5	5.2	1.3	0.9

〔7〕 あなたは今までに、おばあさんと、つぎのようなことをしたことがありますか。

(1) ちいさいころいろいろ世話をしてもらった	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	ほとんどなかった	おぼえていない	NA
	66.3	15.0	5.7	3.5	9.1	0.4
(2) いっしょに買い物にいったり遊んでもらったりした						
	46.7	23.2	15.5	7.1	6.9	0.6
(3) おばあさんの、むかしのなしをもらった						
	28.8	16.8	17.5	23.5	12.5	0.9
(4) 電話をしたり手紙を書いた						
	27.1	21.2	22.8	20.4	7.4	1.1
(5) おくりもの(プレゼント)をもらった						
	51.0	21.4	14.6	6.2	5.9	0.9
(6) おこづかい(お年玉)をもらった						
	80.9	10.6	5.6	0.7	1.5	0.7
(7) おばあさんのたんじょうびのお祝いをした						
	28.8	15.0	13.9	28.5	12.9	0.9
(8) いたずらをして、しかられた						
	8.4	10.9	18.7	49.6	11.8	0.6

〔8〕 おばあさんといっしょにすんでいる人だけにききます。

(いっしょにすんでいない人は〔9〕にすすんでください。)

あなたは、おばあさんと同じ家にすんでいてよかったですか	とてもそう	わりとそう	あまりそう思わない	ぜんぜんそう思わない
	65.5	23.8	8.9	1.8



〔9〕 おばあさんといっしょにすんでいない人だけにききます。

(いっしょにすんでいる人は〔10〕にすすんでください。)

(1) あなたはおばあさんと  
よくあいますか……………

ほとんど 毎日あう	週に 1~2回あう	月に 1~2回あう	年に 数回あう	ほとんど あわない	もう いない
11.4	12.5	18.5	38.0	14.6	5.0

(2) あなたは、おばあさんと同じ家で  
いっしょにすみたかったと思いますか……………

とても そう	わりと そう	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
35.6	35.6	24.5	4.3

〔10〕 あなたのおばあさんは、どんな人ですか。

つぎのことばのあてはまるところに○をつけてください。

もう、なくなった(死んでしまった)場合でも、思いだして書いてください。

わたしの(ぼくの)おばあさんは、 やさしい……………	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
71.6	21.4	3.3	1.3	2.4	
あたたかい……………	61.5	28.2	6.8	1.1	2.4
いばっている……………	2.2	5.0	19.5	70.2	3.1
みっともない……………	0.9	2.6	18.0	75.9	2.6
弱々しい……………	1.5	6.6	27.0	62.3	2.6
こわい……………	4.8	7.5	23.2	61.9	2.6
器用……………	53.2	25.7	12.3	5.3	3.5
うるさい……………	4.0	9.9	27.1	56.1	2.9
子ども好き……………	54.9	30.4	9.4	2.2	3.1
いじわる……………	0.9	1.8	14.9	79.5	2.9
ふけつ……………	0.2	0.9	12.1	84.2	2.6
ものしり……………	38.7	36.1	18.2	4.6	2.4

● 資料 I 調査票見本および集計表

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
おこりっぽい……………	3.5	7.5	23.2	62.7	3.1
かわいそう……………	7.3	10.5	27.0	52.6	2.6
礼儀正しい……………	53.5	29.7	12.0	2.2	2.6
つかれている……………	10.7	20.8	30.0	35.4	3.1
わがまま……………	2.9	5.3	16.9	72.0	2.9
頼りない……………	3.7	6.4	21.1	65.9	2.9
尊敬できる……………	43.4	35.0	15.3	3.7	2.6
約束を守る……………	57.3	27.7	9.4	2.8	2.8

これで終わりです。長い間、どうもありがとう！

## 母親用（男性高齢者について）

●単位：パーセント

●母親用は調査票の一部です。

- 〔3〕 一般に男性高齢者（おじいさん）というと、どんな人が多いと思いますか。  
次のことばのあてはまるところに○をつけてください。

近所のおじいさんは、	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
やさしい……………	16.8	58.4	21.3	0.9	2.6
あたたかい……………	16.8	54.7	24.4	1.1	3.0
いばっている……………	9.3	29.5	46.6	11.1	3.5
みっともない……………	2.2	8.9	50.8	34.6	3.5
弱々しい……………	3.3	15.0	54.7	23.5	3.5
こわい……………	5.0	18.7	55.6	17.2	3.5
器用……………	19.1	41.2	32.3	5.0	2.4
うるさい……………	7.4	30.8	50.0	8.7	3.1
子ども好き……………	18.1	46.5	29.4	3.2	2.8
いじわる……………	2.0	4.8	54.5	35.6	3.1
ふけつ……………	2.0	15.2	55.2	24.3	3.3
ものしり……………	31.8	50.3	14.6	1.1	2.2
おこりっばい……………	7.2	31.9	50.1	8.0	2.8
かわいそう……………	4.4	17.2	53.8	21.1	3.5
礼儀正しい……………	18.8	50.9	26.2	1.5	2.6
つかれている……………	7.0	26.7	52.4	10.9	3.0

● 資料 I 調査票見本および集計表

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
わがまま……………	8.0	35.2	42.6	11.4	2.8
頼りない……………	2.4	14.3	61.4	18.9	3.0
尊敬できる……………	19.9	50.7	24.9	1.9	2.6
約束を守る……………	21.8	58.9	15.6	0.9	2.8

母親用（女性高齢者について）

●単位：パーセント

〔3〕 一般に女性高齢者(おばあさん)という、どんな人が多いと思いますか。  
次のことばのあてはまるところに○をつけてください。

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
近所のおばあさんは、 やさしい……………	17.0	65.5	15.5	1.1	0.9
あたたかい……………	20.9	62.0	15.6	1.3	0.2
いばっている……………	3.5	17.1	59.5	17.5	2.4
みっともない……………	0.4	6.9	55.5	35.0	2.2
弱々しい……………	2.8	24.1	52.9	18.3	1.9
こわい……………	2.2	8.9	57.0	30.2	1.7
器用……………	25.6	46.2	21.9	5.2	1.1
うるさい……………	6.1	37.1	43.1	12.4	1.3
子ども好き……………	22.7	50.7	23.6	2.1	0.9
いじわる……………	1.3	10.2	52.0	35.0	1.5
ふけつ……………	0.2	9.1	58.6	29.7	2.4

● 資料1 調査票見本および集計表

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない	NA
ものしり……………	24.4	55.9	16.2	2.4	1.1
おこりっぽい……………	3.2	18.4	58.1	18.6	1.7
かわいそう……………	3.0	17.0	57.0	21.1	1.9
礼儀正しい……………	22.4	53.7	20.9	2.1	0.9
つかれている……………	4.3	30.0	55.6	8.6	1.5
わがまま……………	6.5	29.2	46.2	16.6	1.5
頼りない……………	2.4	18.7	57.5	19.7	1.7
尊敬できる……………	16.6	55.0	24.9	2.4	1.1
約束を守る……………	23.1	52.5	20.5	2.8	1.1